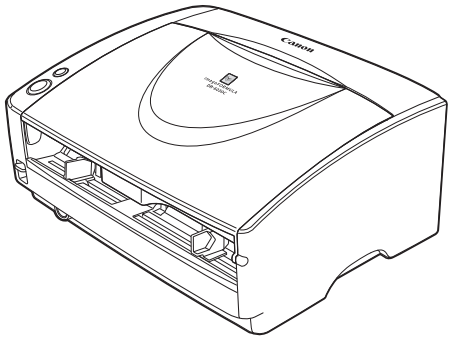
Canon

imageFORMULA
DR-6030C

ユーザーマニュアル



- ご使用前に必ず本書をお読みください。
- 将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

■ 国際エネルギースタープログラムについて

このプログラムは日本向けのものです。
当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

■ 電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

■ ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成しましたが、運用した結果の影響につきましては、前項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 複製についてのご注意

以下のもの（全てを網羅している訳ではありません。）を本物と偽って使用する目的で複製（スキャン）すること、あるいは、複製（スキャン）によりその本物と紛らわしいものを作成すると、法律により罰せられることがあります。

- 紙幣、銀行券（外国のものを含む）
- 郵便切手、印紙、その他の金券
- 株券、社債券、手形、小切手、定期券、回数券、乗車券、その他の有価証券
- 公務員または役所が作成したパスポート、免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 権利、義務もしくは事実証明に関する私人が作成する文書、図画
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

■ 商標および登録商標について

- Canon、Canon ロゴは、キヤノン株式会社の商標です。
- imageFORMULA は、キヤノン電子株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows、PowerPoint および SharePoint は、米国マイクロソフト社の米国および他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- ISIS は、Open Text の米国における商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Adobe PDF ロゴ、および Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

Powered by
ADOBE® PDF LIBRARY

- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。なお、本文中には ™、® マークは明記していません。

■ 免責事項

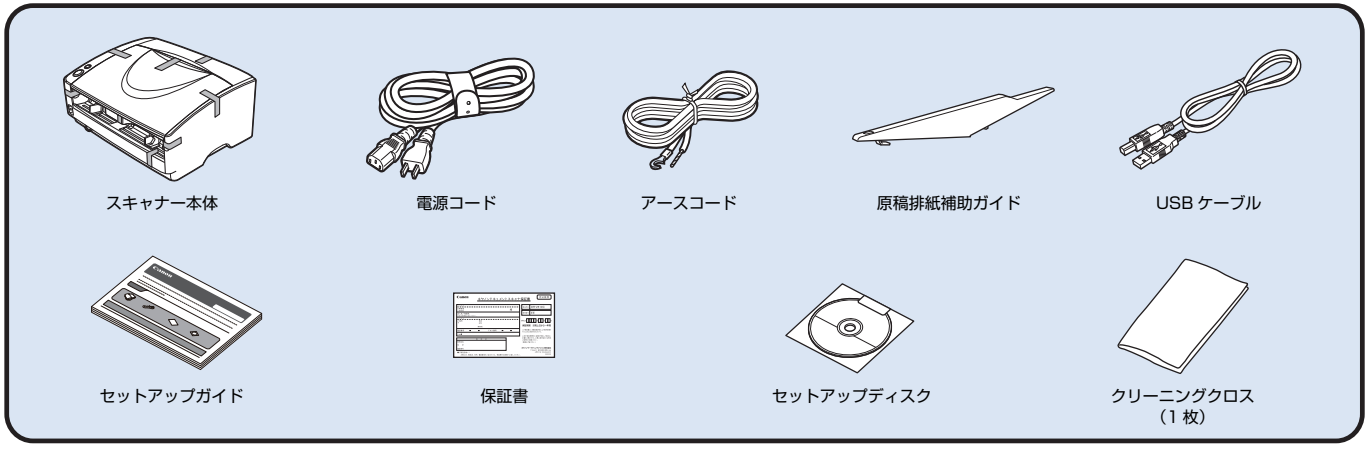
本製品を用いて読み取る原稿、または読み取った画像イメージの保管や管理についてはお客様の責任で行ってください。
また、読み取った原稿を破棄する場合は、必ず、読み取り画像イメージをしっかりと精査し、欠落のないことを確認した上でお客様の責任において行ってください。
なお、当社が本製品に対して行う保証は、いかなる場合においても本製品の代金としてお客様が支払った金額を超えることはありません。予め、ご了承ください。

Copyright © CANON ELECTRONICS INC. 2016 ALL RIGHTS RESERVED

セットアップガイド

STEP 1 付属品を確認する

不足品や損傷品がある場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。



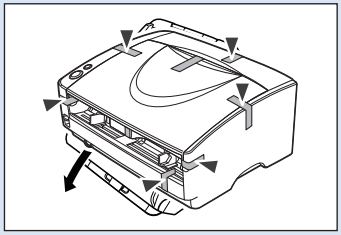
- 付属品は予告なく変更されることがあります。
- 梱包箱および梱包材は本機の保管や輸送の際に必要となりますので、捨てないで保管してください。

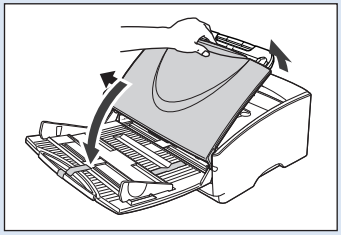
セットアップディスクについて

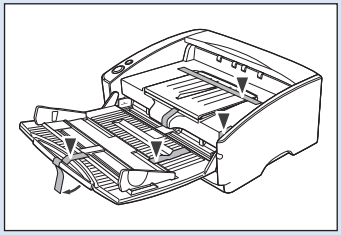
DR-6030C セットアップディスクには、以下のソフトウェアが収納されています。

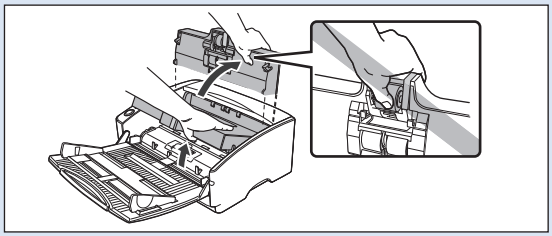
- **DR-6030C Driver**
  DR-6030C を使用するためのスキャナードライバです。
- **CapturePerfect 3.1**
  キヤノンドキュメントスキャナー用に開発された、ISIS 互換スキャニングアプリケーションです。

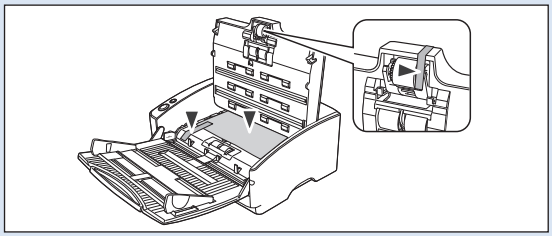
スキャナーを箱から出したら、給紙トレイを取り付け、オレンジ色のテープや保護部材（図の▼）を取り除いてください。

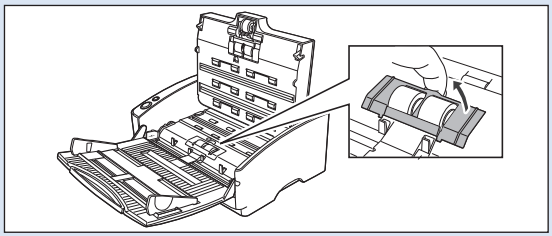


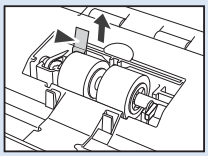












STEP 2 ソフトウェアをインストールする

動作環境の確認

本書に記載されている仕様を満たし、DR-6030C を快適にお使いいただくためには次のシステム要件を推奨します。

コンピューター

CPU：	Intel Core 2 Duo 1.66GHz 以上
メモリー：	1GB 以上
ハードディスク：	すべてのソフトウェアをインストールするために3GB 以上の空き容量
USB インターフェイス：	Hi-Speed USB 2.0
モニター：	解像度 1024×768（XGA）以上
光学ドライブ：	CD/DVD の読み取りが可能なドライブ

オペレーティングシステム

- Microsoft Windows 7 Service Pack1 以上(32 ビット版 /64 ビット版)
- Microsoft Windows 8.1（32 ビット版 /64 ビット版）
- Microsoft Windows 10（32 ビット版 /64 ビット版）
- Microsoft Windows Server 2008 R2 Service Pack 1 以上
- Microsoft Windows Server 2012 R2
- Microsoft Windows Server 2016
- Microsoft Windows Server 2019

2018 年 12 月現在の環境です。
最新のソフトウェアサポート状況はキヤノンホームページの製品ページをご参照ください。

重要

- USB インターフェイスは、コンピューターに標準装備された USB ポートを使用してください。ただし、コンピューターに標準装備されたすべての USB インターフェイスにおいて、動作を保証するものではありません。詳細についてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- コンピューターに標準装備された USB インターフェイスが USB Full-Speed （USB1.1 相当）の場合、スキャン速度が低下します。
- USB ケーブルは、同梱品をお使いください。
- CPU、メモリー、インターフェイスカードなど、コンピューターの推奨仕様を満たさない場合は、スキャン速度が大幅に低下したり、転送速度に時間がかかったりする場合があります。
- コンピューターのシステム要件を満たしている場合でも、コンピューターの仕様・環境や読み取りの設定によっては、スキャン速度が低下する場合があります。
- 同梱されているスキャナードライバーは、すべての ISIS 互換アプリケーションソフトウェアまたは TWAIN 互換アプリケーションソフトウェアで動作するとは限りません。詳細についてはアプリケーションソフトウェアの販売元にお問い合わせください。
- Windows 10 のタブレットモードでは、ソフトウェアの表示が乱れることがあります。

64 ビット版オペレーティングシステムで使用する場合の注意事項

- 本製品のISIS/TWAIN ドライバーでのスキャンが可能なのは32ビット版アプリケーションに限られます。
- 32 ビット版アプリケーションでも、すべての ISIS/TWAIN 互換アプリケーションでの動作を保証するものではありません。
- 使用するコンピューターの仕様によっては、スキャン速度が遅くなることがあります。

ソフトウェアのインストール方法について

本製品の取扱説明書に記載されている手順でインストールしてください。各オペレーティングシステムの違いにより表示画面やフォルダの名称が異なる箇所については、適宜読み替えて手順を実行してください。

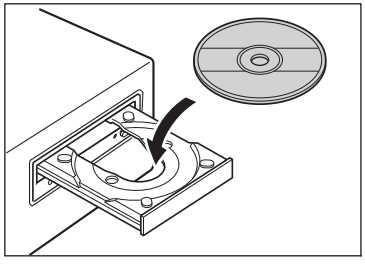
インストール方法

重要

- ソフトウェアのインストールは、本機とコンピューターを接続する前に行ってください。
- Administrator 権限のアカウントでログオンしてください。
- ほかのアプリケーションをすべて終了させてからソフトウェアをインストールしてください。

1 ソフトウェアセットアップディスクをコンピューターのディスクドライブにセットします。

自動的にセットアップメニューが起動します（起動しないときは、ディスク内の setup.exe を実行してください）。



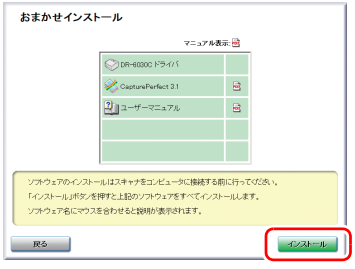
次の画面が表示されたら［はい］または［許可］をクリックしてください。

2 ［おまかせインストール］をクリックします。

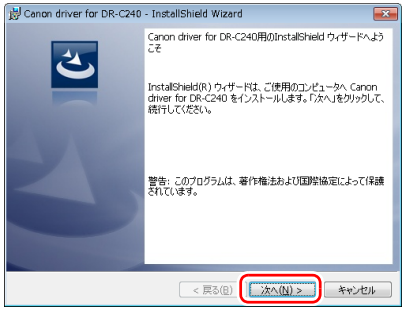
ヒント

アンインストールしたソフトウェアを再インストールするときは、「選んでインストール」をクリックし、アンインストールしたソフトウェアを指定してください。

3 ［インストール］をクリックします。



4 画面の指示に従ってインストールを完了させます。



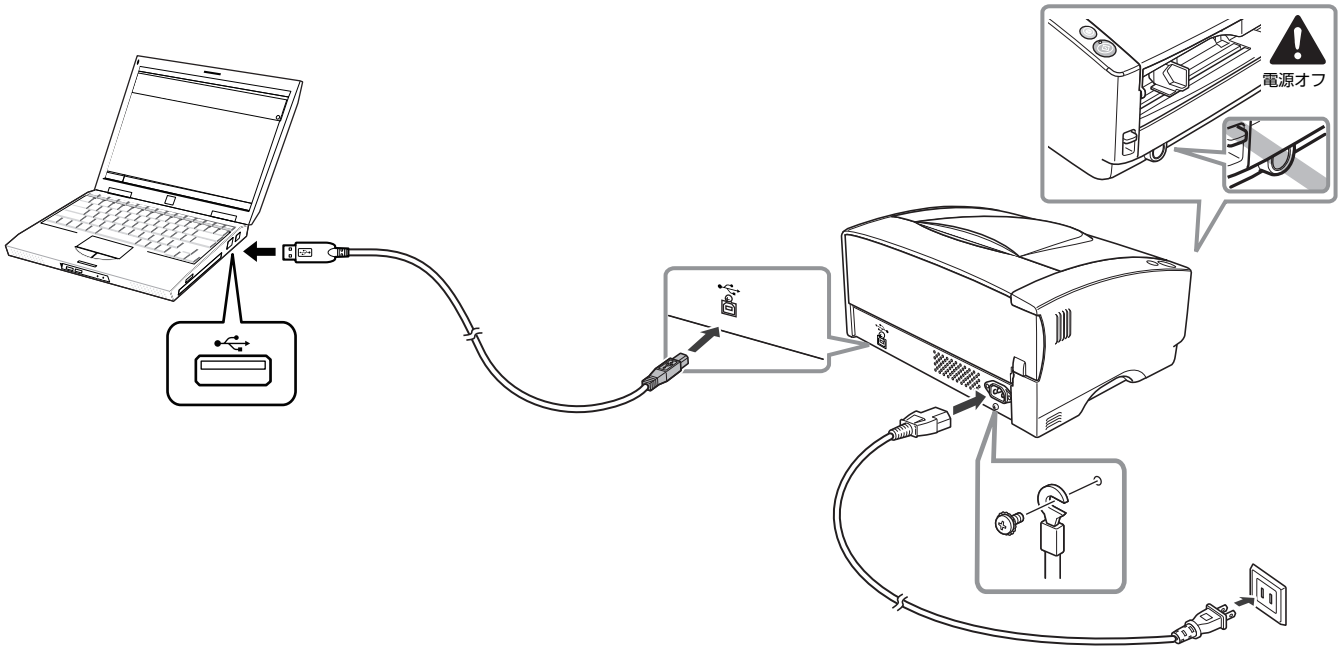
5 ［終了］をクリックしてソフトウェアのインストールを終了します。

STEP 3 コンピューターと電源に接続する

本機をコンピューターと電源に接続します。

重要

- ソフトウェアをインストールする前にスキャナーをコンピューターに接続しないでください。
- コンピューターと接続する前に本機の電源がオフになっていることを必ず確認してください。
  電源がオンになっているときは、オフにしてください。

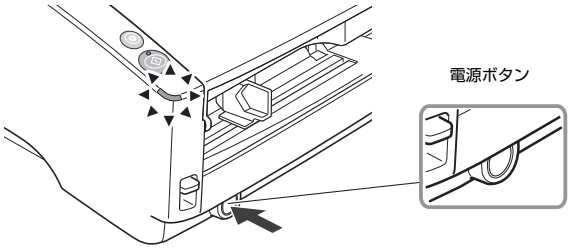


STEP 4 電源を入れる

本機の電源は、正面の電源ボタンで操作します 。

1 **本機とコンピューターの接続を確認します。**

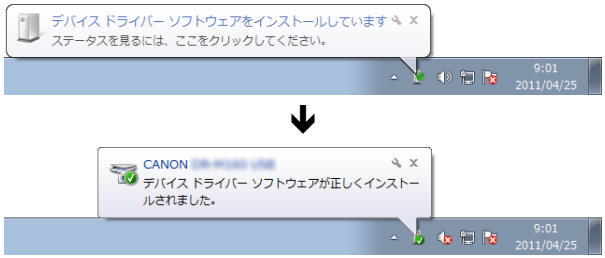
2 **本機の電源をオンにします。**



電源が入ると、電源ランプが緑色に点灯します。

ヒント

初めて本機の電源を入れたときにタスクバーに次のようにバルーンが表示されます。しばらく待つと自動的にスキャナーの認識が終了し、本機が使用できるようになります。



電源を切るには

電源ボタンを、電源ランプが消灯するまで押し続けます。

重要

- 長時間ご使用にならないときは安全のため、必ず電源をオフにして電源プラグをコンセントから抜いてください。

ヒント

出荷時は、スキャンなどの操作をしないまま 4 時間経過すると自動的に電源が切れる設定がオンになっています。
この設定を無効にするには、「自動電源オフ設定」（→ P.56）の手順をご覧ください。

はじめに

このたびはキヤノンDR-6030Cスキャナーをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
本機の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご活用いただくために、ご使用前に本書をよくお読みいただくとともに、お読みになったあとは必ず保管してください。

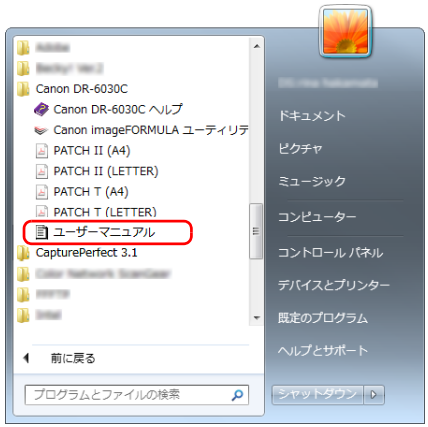
マニュアルの構成

本製品には、下記のマニュアルが用意されています。

- **セットアップガイド**
  本機のセットアップ方法を説明したマニュアルです。本機を使い始めるときにお読みください。
- **ユーザーズガイド（本書）**
  DR-6030C の取り扱いからソフトウェアの設定、メンテナンス、困った時のトラブルシューティングなどについて書かれています。
- **CapturePerfect 操作ガイド（電子マニュアル）**
  CapturePerfect の操作マニュアルです。CapturePerfect のインストールと同時に操作ガイドもコンピューターにインストールされます。（→P.29）

ヒント

- 本製品のマニュアル（機能詳細編）は、PDF 形式の電子マニュアルとしてセットアップディスクに収録されています。
- ユーザーマニュアル（電子マニュアル）が、ソフトウェアのインストールにより以下の場所に登録されます。



ヒント

Windows 8.1 では以下の場所に登録されています。

マニュアル内の表記について

本製品のマニュアルで使用している記号・表示について説明します。マニュアルをお読みになる前に、ひととおり目を通して、その意味を理解しておいてください。

(→ P. xx)

参照ページを表します。カッコ内の数字は、書かれていることについての詳しい説明が記載されているページ数です。

警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

重要

操作上必ず守っていただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために、必ずお読みください。

ヒント

操作の参考となることや補足説明が書かれています。必ずお読みください。

目次

セットアップガイド 3
はじめに 10
マニュアル内の表記について 11

お使いになる前に 13

安全にお使いいただくために 13
設置する場所について 13
電源について 13
本機の移動について 14
日常の取り扱いについて 14
廃棄する場合について 15
本製品を修理のために送付するときは 15
本機の特長 16
各部の名称と機能 18

本機の使いかた 20

原稿について 20
原稿のセットのしかた 21
給紙・排紙方法の切り替えについて 21
原稿排紙補助ガイドの取り付け 22
原稿をセットする 23
カードをセットする 26
長尺モードの設定 26
原稿の重送を検知する 28
原稿の斜行を検知する 28

スキャン方法 29

CapturePerfect でスキャンする 29
CapturePerfect によるスキャン 29
スタートキーによる CapturePerfect 3.1 の起動 30
スキャナードライバーの設定 31
スキャナードライバーの構成と機能 31
基本的なスキャン条件の設定 32
より高度なスキャン方法（バッチ区切り） 41
パッチコードシートを用いたバッチ区切り 41

メンテナンス 44

日常のお手入れ 44
本体の清掃 44
本体内部の清掃 44
読み取りガラスとローラーの清掃 44
シェーディング板の清掃 46
消耗品の交換 48
スリープモード設定 55
自動電源オフ設定 56

トラブルシューティング 58

トラブル Q & A 58
ソフトウェアの操作で困ったときは 60
役立つヒント集 61
紙づまりの処理 62
ソフトウェアをアンインストールする 64

付録 65

仕様 65
交換部品 66
オプション 66
外形寸法図 66
索引 67

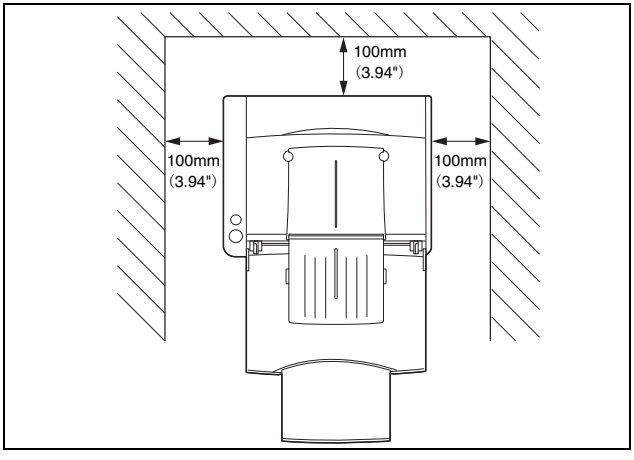
安全にお使いいただくために

本機を安全にお使いいただくため、以下の項目についての注意事項を必ずお読みください。

設置する場所について

本機の性能は、設置されている環境によって影響を受けることがあります。設置する場所が、次の環境条件に合っていることを確認してください。

- 本機の周りには操作、保守、換気のためのスペースを十分確保してください。



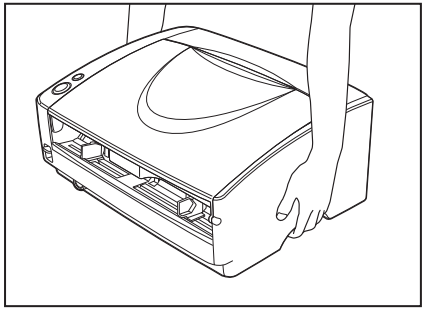
- 読み取った原稿を本機の後方に排紙する場合、本機の後方に原稿を排紙するためのスペースを十分確保してください。
- 直射日光が当たる場所は避けてください。やむをえない場合は、厚いカーテンなどで日光をさえぎってください。
- ほこりの多い場所は避けてください。ほこりは本体内部に悪影響を及ぼすことがあります。
- 水道の蛇口、湯沸器、加湿器など高温、多湿になる場所の近くや、アンモニアガス、シンナーなどが発生する場所は避けてください。
- 不安定な場所や、振動しやすい場所は避けてください。
- 温度が急激に変化する場所は避けてください。本体内部で結露が発生すると、品質低下の原因になります。以下の環境下でお使いください。
  室温　10 ℃～ 32.5 ℃
  湿度　20%（RH）～ 80%（RH）
- スピーカーやテレビ、ラジオなど磁気が発生する機器の近くは避けてください。

電源について

- 電源は必ず 100V のコンセントからとってください。
- AC100V 以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 他の電気機器と同じコンセントを使用しないでください。また、延長コードを使う場合は、延長コードのアンペア数値に注意してください。
- 電源コードの上に物を置いたり、踏みつけたりしないでください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 電源コードを強く引っ張らないでください。電源プラグを抜くときは、電源プラグを持ち、そのまま抜いてください。
- 非常時に電源プラグが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。
- 安全のため、必ずアース線を接続してください。アース線は絶対にガス管や水道管には接続しないでください。アース線の接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
- 電源について不明な点があるときは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

本機の移動について

● スキャナーを移動する場合は、本体を落とさないように必ず両手でしっかり持ってください。スキャナー本体の質量は約 9.9kg です。



● 本機を移動する場合は、インターフェイスケーブルや電源コードを、必ず外しておいてください。ケーブル類を付けたまま持ち運ぶと、無理な力が加わってプラグやコネクターが損傷することがあります。

日常の取り扱いについて

警告

本製品をお使いになるときは、次の警告をお守りください。これらは火災や感電の原因になります。

■ アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くには設置しないでください。
■ 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げないでください。
■ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
■ タコ足配線をしないでください。
■ 電源コードを結んだり、束ねたりしないでください。電源プラグは奥まで確実に差し込んでください。
■ 付属の電源コード以外は使用しないでください。
■ 本機を分解したり、改造しないでください。
■ 本機の分解、改造は、危険ですので絶対に行わないでください。
■ 本機の近くでは可燃性のスプレーを使用しないでください。
■ 清掃の際は電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
■ 本機の清掃には、水を含ませて固くしぼった布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。
■ 異常音、発煙、発熱、異臭があったり、電源を入れても機械が動かないなどの異常が発生した場合は、直ちに電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
■ 本機を落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。万一、本機が破損した場合は、直ちに電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
■ 本機を移動させる場合は、必ず電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
■ 心臓ペースメーカーをお使いの方へ
本製品から微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本製品から離れてください。そして、医師に相談してください。

注意

■ ぐらついた台の上や傾いたところなどの不安定な場所や、振動の多い場所には設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
■ 通気孔をふさがないでください。本機の内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
■ 本機の上には、クリップ、ステイプルの針、ネックレスなどの金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ると火災や感電の原因になることがあります。万一、これらが本機の中に入ってしまった場合は、直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そしてお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
■ 湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
■ 本機の上には物を載せないでください。置いたものが倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。
■ 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、芯線の露出、断線などで、コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
■ いつでも電源コードが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。
■ 本機の内部に、水や引火性溶剤（アルコール、シンナー、ベンジンなど）をこぼさないでください。火災や感電の原因になることがあります。
■ 長時間ご使用にならないときは、安全のため、必ず電源コードを本体から抜き、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ 本機を操作するときは、ゆったりとした服装を避け、装飾品など動作中の本機に引っ掛かりそうなものを身につけないでください。本機に巻き込まれてけがの原因になることがあります。特にネクタイや長い髪などはご注意ください。万一、巻き込まれた場合は、直ちに電源を切って機械を停止してください。
■ 原稿をセットするときや、詰まった紙を取り除くときは、慎重に扱ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。

廃棄する場合について

本機を廃棄するときは、必ず法律およびその地域の条例に従って廃棄するか、お買い求めの販売店にご相談ください。

本製品を修理のために送付するときは

本製品の修理を依頼するときは、指定された送付先に本製品をお送りいただく必要があります。本製品の送付には、製品が入っていた梱包箱をご利用ください。また、梱包箱に入れるときに、本製品を梱包材でしっかりと固定していただくようお願いいたします。

本機の特長

DR-6030C の主な特長は以下のとおりです。

- **高速原稿給紙**
  小型ながら名刺サイズから A3 までの原稿を最大 60 枚 / 分で読み取ります。（読取条件：白黒 /A4 縦 / 両面 /200dpi）
- **USB インターフェイス対応**
  コンピューターに標準搭載されているUSBインターフェイスに対応しています。
- **カラー / グレースケール対応**
  原稿を 24 ビットカラーや 256 階調グレースケールで読み取ることができます。
- **多様な読み取りモードをサポート**
  原稿の種類によって、以下のようなさまざまな読み取りモードに対応しています。
  - 片面または両面モード
  - 連続または手差し給紙
- **前面給排紙（U ターン排紙）**
  原稿の給紙と排紙を前面で行います。
- **後方排紙（ストレート排紙）**
  背面にある排紙トレイを開くことにより、原稿が後方に排紙されます。ただし、排紙された原稿の順番は、給紙したときの逆になります。
- **自動原稿サイズ検知**
  読み取った原稿のサイズを自動的に検知して保存します。サイズの異なる原稿が混在しているときや、非定形サイズの原稿を読み取ったときにできる黒い部分が削除されます。
- **重送検知**
  原稿が重なって搬送されたことを検知して搬送を停止します。（→ P.46「重送検知機能」）
- **斜行検知**
  斜めに給紙された原稿が給紙口の端に接触したことを検知して搬送を停止します。
- **斜行補正**
  斜めに給紙された原稿の画像を検知して、画像の傾きを補正します。
- **カラー原稿自動検知**
  読み取った原稿がカラーか白黒かを自動的に検知して画像を保存します。
- **カードスキャン**
  ISO/JIS 規格に準拠したカードをスキャンすることができます。
- **文字向き検知**
  原稿の中の文字の向きを検知し、文字の向きがまっすぐになるように読み取った画像を回転させます。
- **文字強調モード**
  背景が濃い原稿や、背景が均一でない原稿を読みやすくするアドバンストテキストエンハンスメントモードと、背景が均一で文字、背景ともに薄い原稿の文字を読みやすくするアドバンストテキストエンハンスメントIIモードを備えています。
  * 原稿によっては、有効に機能しない場合があります。
- **ドロップアウトカラー**
  原稿の中の特定の色または色の範囲を指定し、指定した色を読み取らないようにします。
- **自動スタート**
  原稿を給紙口にセットすると自動的にスキャンが開始される自動スタート機能を備えています。
- **自動白紙スキップ機能**
  原稿が片面であるか両面であるかを気にせずにスキャンを行える、自動白紙スキップ機能を備えています。
- **プレスキャン機能**
  読み取りを行う前にプレスキャンを行ない、プレスキャンした画像で明るさとコントラストを調整してから読み取りを行ないます。
- **バインダー穴消去**
  バインダーに綴じられていた原稿を読み取った時にできる黒い穴の部分を消去します。
- **マルチストリーム機能**
  用途に合わせて読み取り条件の異なる 2 つの画像を 1 回のスキャンで同時に出力することのできるマルチストリーム機能に対応しています。ただし、この機能はお使いのアプリケーションがマルチストリーム機能に対応している場合にのみ使用できます。
- **長尺紙対応**
  本機の設定を長尺モードに設定することにより、最大 3,000mm の長さの原稿までスキャンすることができます。

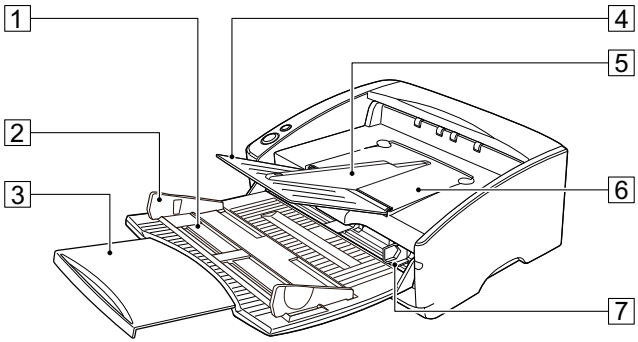
- **感圧紙対応**
  感圧紙もスキャンすることができます。
- **スタンバイモード**
  本機は、スキャン実行時以外、スタンバイモードに移行する省エネ設計になっています。

ヒント

お使いのアプリケーションソフトウェアによっては、記載されている機能が使用できない場合があります。

各部の名称と機能

前面



1 **給紙トレイ**
読み取る原稿をセットします。

2 **原稿ガイド**
原稿の幅に合わせて調整します。（→ P.24）

3 **給紙補助トレイ**
原稿が原稿トレイからはみ出す場合に引き出します。（→ P.23）

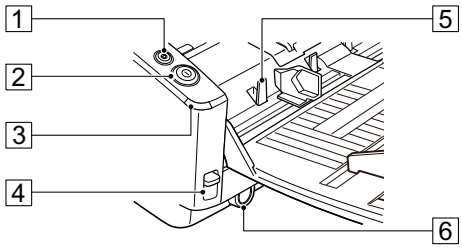
4 **排紙トレイガイド**
原稿が排紙トレイからはみ出す場合に開きます。（→ P.22）

5 **原稿排紙補助ガイド**
薄い原稿や長い原稿を読み取るときに原稿が詰らないように補助します。（→ P.22）

6 **排紙トレイ**
読み取られた原稿が排紙されます。

7 **原稿ガイド２**
小さい原稿や、短い原稿のときに使用します。（→ P.24）

操作部



1 **ストップキー**
スキャンを中止します。

2 **スタートキー**
アプリケーションで「パネルで給紙」が設定されているときに、このキーによりスキャンを開始します。

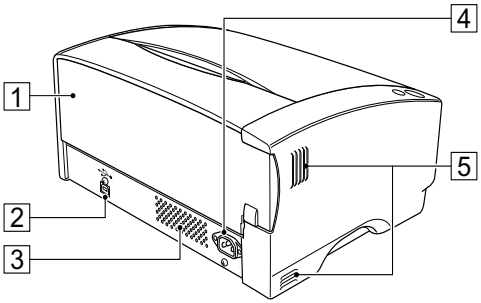
3 **電源ランプ**
スキャナーの電源をオンにすると点灯します。

4 **給紙切替レバー**
原稿の給紙方法を切り替えます。
原稿を連続で給紙させる場合に上側（）にします。（→ P.21）
原稿を 1 枚ずつ給紙、または複数枚綴りの伝票などを分離しないで給紙する場合には下側（）にします。（→ P.21）

5 **原稿ストッパー**
給紙切替レバーに連動して上下します。

6 **電源ボタン**
スキャナーの電源をオン、オフします。

背面



1 **ストレート排紙用トレイ**
このトレイを開くとストレート排紙に切り替わります。（→ P.21）

2 **USB コネクタ**
同梱または、Hi-Speed USB2.0 に対応した USB ケーブルを接続します。

3 **通気孔**

4 **電源コネクタ**
付属の電源コードを接続します。

5 **通気孔**

注意

通気孔をふさがないでください。本機の内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

原稿について

本スキャナーは、名刺、小切手などの小さい原稿から A3 サイズまでの原稿を読み取ることができます。また、ISO/JIS 規格に準拠したカードの読み取りにも対応しています。
本スキャナーで読み取ることのできる原稿のサイズ大きさは以下のとおりです。

排紙方向　(*1)	Uターン排紙	ストレート排紙
幅	53 - 300 mm	53 - 300 mm
長さ	70 - 432 mm (*2)	70 - 432 mm (*2)
厚さ　(*3) 通常給紙の場合 非分離給紙の場合	 52 - 128 g/m^2 (0.06 - 0.15 mm) 42 - 157 g/m^2 (0.05 - 0.20 mm)	 52 - 128 g/m^2 (0.06 - 0.15 mm) 42 - 546 g/m^2 (0.05 - 0.66 mm)
ISO/JIS規格準拠カード	読み取り不可	読み取り可(非分離給紙にて) サイズ:54 x 86 mm カード厚:0.76±0.08 mm 但し、エンボス無きこと

(*1) 排紙方向については「給紙・排紙方法の切り替えについて」(→ P.21) を参照してください。
(*2)本スキャナーの設定を長尺モードに設定することにより、最大3,000mmまでの原稿を読み取ることができます。「長尺モードの設定」(→ P.26)
(*3) 給紙方法については「給紙・排紙方法の切り替えについて」(→ P.21) を参照してください。

読み取る原稿について、以下の注意をよくお読みください。

- 複数枚の原稿を一度に読み取るときは、原稿のサイズ、厚さ、紙質をそろえてください。異なる条件の原稿を給紙すると、紙詰まりの原因になります。
- インクが乾いていない原稿は、ローラーや読み取りガラスを汚し、画像にすじが入る原因になったり、他の原稿を汚す原因になります。必ず乾かしてから読み取りを行ってください。
- 鉛筆などで書かれた原稿は、ローラーや読み取りガラスを汚し、画像にすじが入る原因になったり、他の原稿を汚す原因になります。このような原稿を読み取ったあとは、スキャナーの内部を清掃してください。
- 薄い紙の両面原稿を読み取る場合、読み取ったときに裏写りすることがあります。あらかじめアプリケーションソフトウェアで読み取る明るさを調整してから実行してください。
- 次のような原稿を読み取ろうとすると、紙づまりや故障の原因になりますのでご注意ください。このような原稿を読み込むときは、複写機でコピーしてから読み取ってください。

しわや折り目が入っている。

カーボン紙。

カール（巻き付け）がある。

表面がコーティングされている。

破れている。

半透明の薄紙など極端に薄い。

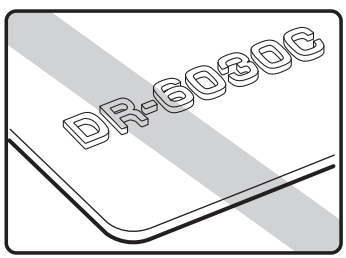
クリップやステイプルの針が付いている。

紙粉が出やすい紙

- 感圧紙の束をスキャンするときは、原稿をよくさばいてからスキャンしてください。
- 光沢のある原稿やカードの場合、光の反射により、正常にスキャンできなかったり、原稿サイズ検知や斜行補正などの機能が正常に動作しない原因になりますのでご注意ください。
- ISO/JIS 規格準拠カードを読み取る場合、非分離給紙、ストレート排紙で行ってください。

注意

- エンボスの付いたカードの読み取りは保証外です。エンボスの付いたカードをスキャンした場合、読み取りガラスにキズをつけることがありますので注意してください。



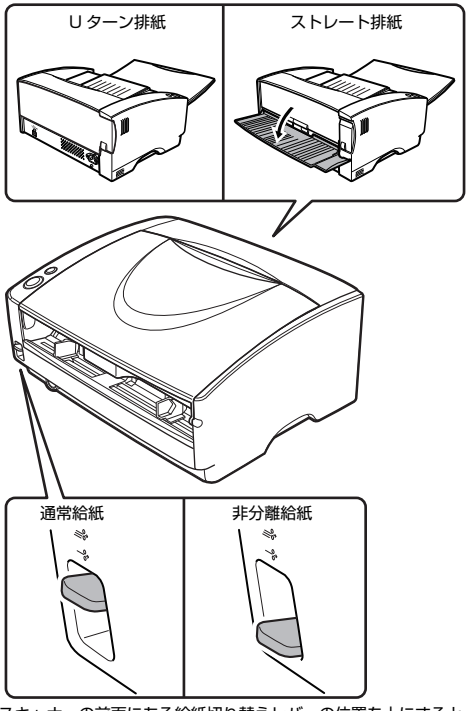
エンボス付カード

原稿のセットのしかた

給紙・排紙方法の切り替えについて

スキャンする原稿の種類に応じて、給紙方法と排紙方法を切り替えます。

スキャナーの背面にあるストレート排紙用トレイを閉じているときは U ターン排紙、開くとストレート排紙になります。



スキャナーの前面にある給紙切り替えレバーの位置を上にすると通常給紙、下にすると非分離給紙になります。

通常給紙は、原稿を 1 枚ずつ搬送する給紙方法です。非分離給紙は、複数枚綴りの転写紙や半折りの原稿を分離せずまとめて搬送する給紙方法です。

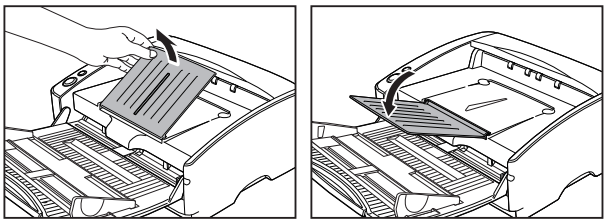
原稿の種類ごとの給紙および排紙方法

原稿の種類	給紙方法	排紙方法	備考
普通紙	どちらも可	どちらも可	
プラスチックカード	非分離給紙	ストレート排紙	エンボス付きのカードは読み取りの保障外です。エンボスなしのカードは 1 枚ずつ縦向きにセットすること。
厚い紙	どちらも可	ストレート排紙	
薄い紙	どちらも可	どちらも可	
綴じた紙（帳票など）	非分離給紙	どちらも可	
長尺紙	非分離給紙	どちらも可	

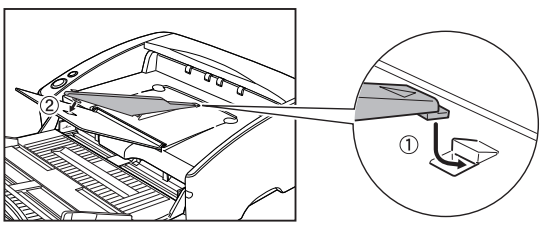
原稿排紙補助ガイドの取り付け

特に薄い原稿や長い原稿を読み取る際は、紙詰まりなどのトラブルを避けるために付属の原稿排紙補助ガイドを取付けて使用してください。

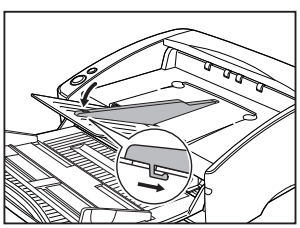
1 排紙トレイガイドを手前に開きます。



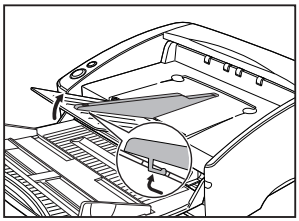
2 原稿排紙補助ガイドを①、②の順に取り付けます。



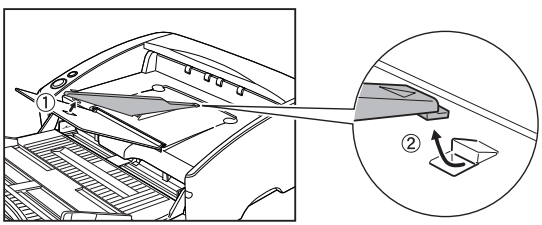
3 原稿排紙補助ガイドを押して排紙トレイにフックします。



4 原稿排紙補助ガイドを取り外すときは、排紙トレイを少し持ち上げて排紙トレイからフックを外します。



5 取り付けたときの逆の手順で取り外します。



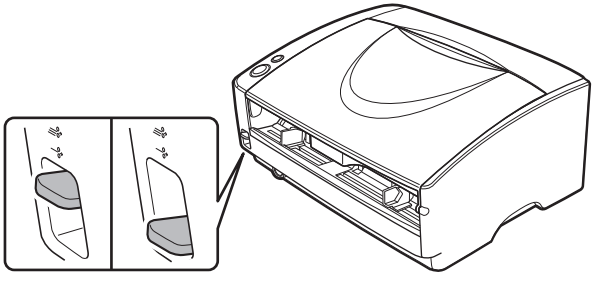
原稿をセットする

1 **原稿の種類に合わせて給紙方法を切り替えます。**

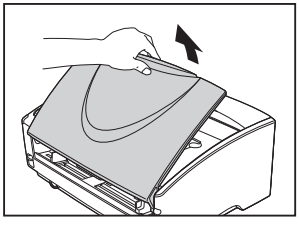
普通紙や名刺をスキャンするときなど、通常は給紙切り替えレバーの位置を上にします（通常給紙）。複数枚の原稿を 1 枚ずつ分離しながら給紙します。

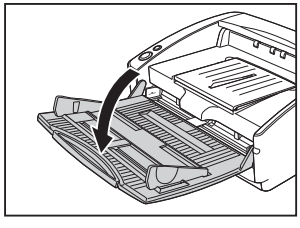
プラスチックカードや綴じた紙（帳票）をスキャンするときは、給紙切り替えレバーの位置を下にします（非分離給紙）。原稿が分離されずにスキャンされますので、1 枚ずつ（綴じた紙の場合は 1 綴りずつ）セットする必要があります。

原稿の種類に応じた給紙方法についての詳細は（→ P.21）を参照してください。



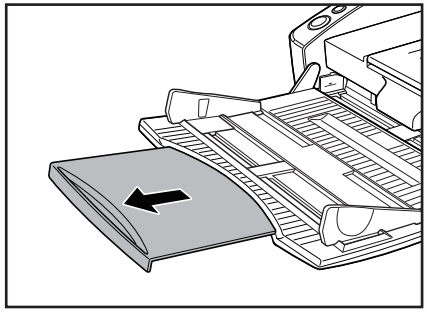
2 **給紙トレイを開きます。**





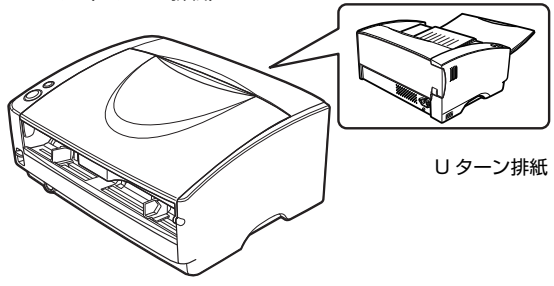
重要

サイズの大きな原稿を読み取るときは、給紙補助トレイを引き出して使用します。

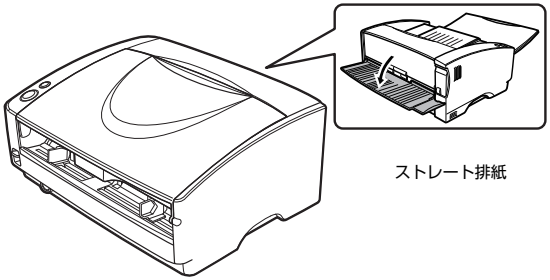


3 **原稿の種類に合わせて排紙方法を切り替えます。**

通常は、スキャナーの背面にあるストレート排紙用トレイを閉じてスキャンします（U ターン排紙）。



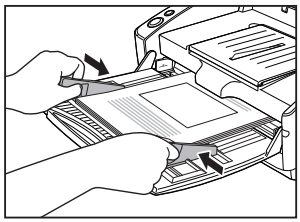
名刺やプラスチックカードなどは、原稿に負荷がかからないように、ストレート排紙用トレイを開いてスキャンします（ストレート排紙）。
原稿の種類に応じた排紙方法についての詳細は（→ P.21）を参照してください。



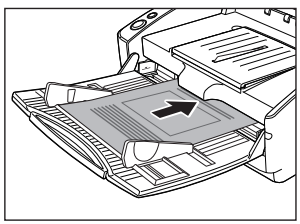
4 **U ターン排紙でスキャンする場合に、長い原稿をセットするときは、付属の原稿排紙補助ガイドを取付けて使用してください。**

詳細は（→ P.22）を参照してください。

5 **読み取る原稿の幅に原稿ガイドを合わせます。**



6 **原稿をセットします。**

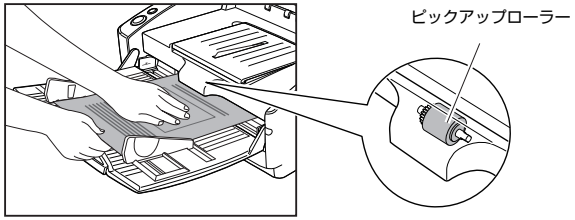


原稿をセットしたら、原稿ガイドを原稿の両端に合わせてください。
小さい原稿や短い原稿をスキャンするときは、原稿ガイド2を原稿の幅に合わせて使用してください。

重要

- スキャナー本体の上で原稿をそろえないでください。故障の原因になります。
- 原稿をセットするときは慎重に扱ってください。紙の端で手を切るなど思わぬけがをすることがあります。
- 一度にセットする原稿の枚数が、原稿ガイドの積載制限マーク（▼）を超えないようにしてください。一般的なコピー用紙（80 g/m2）で約100 枚までです。
- 原稿をセットする前に、クリップやステイプルの針などが紛れ込んでいないか、必ず確認してください。万一、これらが紛れ込んでいると、大事な原稿が破れたり、紙づまりが発生するなど、本機の故障の原因になります。
- 本機を操作するときは、ゆったりとした服装を避け、装飾品など動作中の本機に引っ掛かりそうなものを身につけないでください。本機に巻き込まれて、けがの原因になることがあります。特にネクタイや長い髪などはご注意ください。万一、巻き込まれた場合は、直ちに電源ケーブルを本体から抜いて本機を停止してください。
- 原稿の先端がカールしていると原稿が折れたり、紙づまりの原因になります。カールが大きい場合は、カールを矯正してから本機にセットしてください。
- 読み取り中に、システムエラーまたは紙づまりによって給紙が停止した場合は、処理をしたあと、給紙している原稿の最後のページが正しく記録されていることを確認してから読み取り作業を続けてください。
- 読み取りが終了し、スキャナーを使用しないときは、本機の損傷を防ぐために給紙トレイと排紙トレイガイドを閉じてください。
- 複数枚綴りの原稿（伝票など）は、綴じしろ側から給紙トレイに挿入してください。
- A4/LTR サイズを超える長尺原稿、または薄い紙の原稿の場合は、排紙トレイに収まらず、落下して破損することがありますので、原稿の取り扱いには注意してください。
- ストレート排紙の場合、スキャナーの後ろ側に原稿が排除されます。排紙口の近くに、排紙の妨げになるようなものを置かないでください。また、原稿がスムーズに排紙されるよう、スキャナーは平滑な面に設置してください。

- 特に薄い原稿やカールした原稿を手差し給紙するとき、うまく給紙されないことがあります。そのようなときは原稿の先端を手で軽く押さえながらセットするようにしてください。その際、ピックアップローラーの下に手を入れないように注意してください。



カードをセットする

1 **給紙切り替えレバーを非分離給紙の位置（下側）にセットします。**

2 **給紙トレイを開きます。**

3 **ストレート排紙用トレイを開きます。**

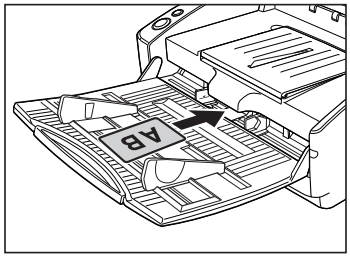
注意

カードをスキャンするときは、ストレート排紙用トレイを開いてください。U ターン排紙でスキャンすると、カードが破損するおそれがあります。

4 **スキャンするカードの幅に原稿ガイドを合わせます。**

5 **カードをセットします。**

エンボスなしカードは、1 枚ずつ縦向きにセットしてください。エンボス付きカードは、読取保証外です。



注意

- カードはストレート排紙でスキャンしてください。
- エンボス付きのカードは読取保障外です。
- カードのスキャン時は、超音波での重送検知が誤作動します。スキャナードライバーの設定画面で［搬送］タブの［超音波で検知］チェックボックスをオフにしてください。

長尺モードの設定

本機でスキャンすることのできる原稿の長さは通常で 432mm で、本機の設定を長尺モードに変更することにより、最大 3,000mm までの原稿をスキャンすることができます。

長尺モードを使用する場合には、スキャナーのプロパティにより、スキャナー本体の設定を長尺モードに変更し、ISIS/TWAIN ドライバの「用紙サイズ」の設定を［自動検知］にすることにより 3,000mm までの長さの原稿を検知してスキャンすることができます。

重要

長尺モードを使用する場合、以下の点について注意してください。

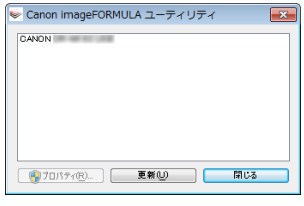
- 長尺モードを設定して自動サイズ検知でスキャンした場合、処理速度が遅くなる場合があります。
- 長尺モードを使用する場合、原稿が傾いてセットされるとスキャナーの給紙部の両端に当たり原稿を破損する場合があります。原稿の傾きには充分注意してください。
- 長尺モードを使用する場合、紙詰まりの検知が遅れ原稿を破損する場合があります。紙詰まりには充分注意してください。
- 長尺原稿のスキャンは、必ず非分離給紙で行ってください。

長尺モードの設定

長尺モードは、以下の手順で設定してください。

1 **スタートボタンをクリックし、［すべてのプログラム］、［Canon DR-6030C］、［Canon imageFORMULA ユーティリティ］の順にクリックします。**

imageFORMULA ユーティリティが起動します。

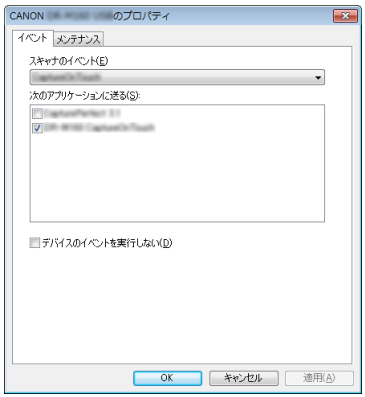


ヒント

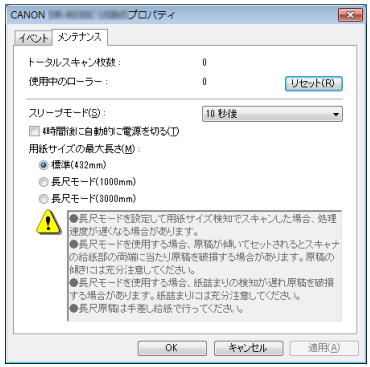
Windows 8.1 では以下の場所に登録されています。

2 [Canon DR-6030C USB] をクリックし、プロパティをクリックします。

スキャナーのプロパティが表示されます。



3 メンテナンスタブをクリックし、[長尺モード (1000mm)] または [長尺モード (3000mm)] をチェックします。



4 [OK] をクリックします。

原稿の重送を検知する

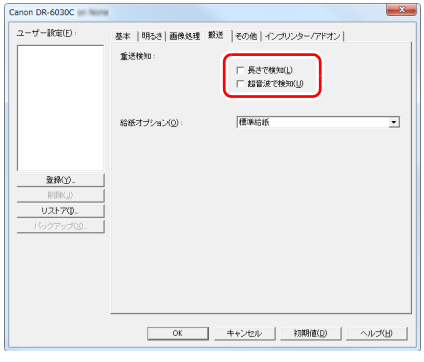
本機には原稿の重送を検知する機能があります。この機能を使用すると、複数枚の原稿が同時に給紙されたことが検知された場合に、スキャン動作が自動的に停止します。
原稿の重送を検知するときは、あらかじめスキャナードライバーの設定画面を開き、重送検知を有効にする必要があります。

設定方法

1 スキャナードライバーの設定画面を開きます。(→ P.29)

2 ［搬送］タブを開きます。

3 ［長さで検知］または［超音波で検知］チェックボックスのどちらか（または両方）をオンにします。



4 ［OK］ボタンをクリックして設定画面を閉じます。

5 「原稿をセットする」(→ P.23) の手順に従って原稿をセットします。

原稿の斜行を検知する

本スキャナーは、斜行した原稿が給紙口の端に接触したことを検知する「斜行検知機能」を備えています。原稿の斜行を検知した時にエラーメッセージを表示し、搬送を停止させます。

ヒント

小さい原稿の場合は、斜行してもセンサーに検知されないことがあります。

CapturePerfect でスキャンする

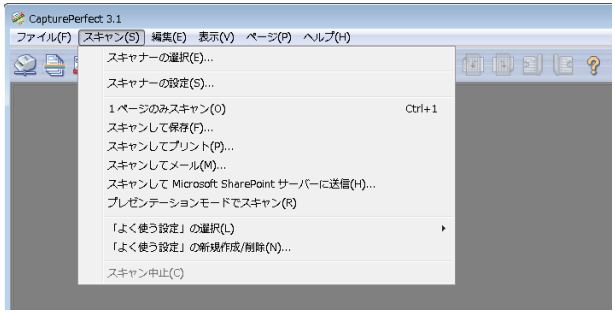
CapturePerfect によるスキャン

ここでは、CapturePerfect の起動からスキャナーを選ぶまでの手順と、「スキャンバッチファイル」によるスキャンまでの手順について説明します。
詳細については、CapturePerfect の『操作ガイド』またはヘルプを参照してください。

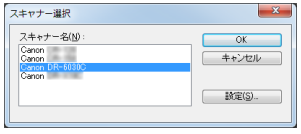
1 ［スタート］ボタンをクリックし、［すべてのプログラム］をクリックします。

次に［CapturePerfect 3.1］をクリックし、［CapturePerfect 3.1］をクリックします。

2 ［スキャン］メニューの［スキャナーの選択］をクリックします。



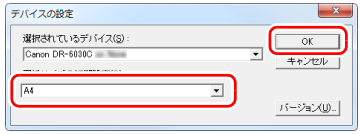
3 ［CANON DR-6030C］を選択し、［OK］をクリックします。



ヒント

［CANON DR-6030C］が表示されないときは、スキャナードライバーを再インストールしてください。（→ P.6）

4 用紙サイズの初期サイズを設定し、［OK］をクリックします。

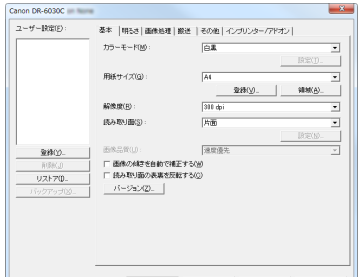


ヒント

- ［デバイスの設定］ダイアログボックスは、［スキャナー選択］ダイアログボックスで［CANON DR-6030C］をはじめて選んで［OK］をクリックしたとき、および［スキャナー選択］ダイアログボックスの［設定］をクリックすると表示されます。
- ISIS ドライバーの設定ダイアログボックスで［初期値］をクリックしたときに、ここでの設定が反映されます。
- TWAIN ドライバーの場合、初期値は「A4」に設定され、変更することはできません。

5 ［スキャン］メニューの［スキャナーの設定］をクリックします。

6 読み取り条件を設定します。（→ P.31）



7 原稿をセットします。（→ P.23）

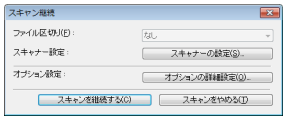
8 ［スキャン］メニューの［スキャンして保存］をクリックします。

9 保存する場所、保存するファイル名、ファイル形式を設定し、［保存］をクリックしてスキャンを開始します。

重要

コンピューターのメモリーを大量に消費する条件でスキャンを行った場合、メモリー不足によりスキャンができなくなる場合があります。スキャン中にメモリー不足などのメッセージが表示されたときは、アプリケーションを終了させ、スキャン条件を変更してからスキャンをやり直してください。

10 セットした原稿がなくなるとスキャンが中断し、［スキャン継続］ダイアログボックスが表示されます。スキャンを継続する場合は原稿を追加して［スキャンを継続する］を、スキャンを終了する場合は［スキャンをやめる］をクリックします。



11 スキャンが終了したら、［ファイル］メニューの［アプリケーションの終了］をクリックします。

スタートキーによるCapturePerfect 3.1の起動

DR-6030C および CapturePerfect 3.1 は、Windows のイベント機能に対応しています。ISIS/TWAIN ドライバと CapturePerfect 3.1 をインストールしたあと、スキャナーのスタートキーを押すだけで CapturePerfect 3.1 を自動起動させることができます。

スキャナードライバーの設定

ISIS 互換アプリケーション（CapturePerfect など）または TWAIN 互換アプリケーションで原稿をスキャンするときは、スキャナードライバーを開いてスキャン条件などを設定します。
ここでは、スキャナードライバーの構成と機能について説明します。

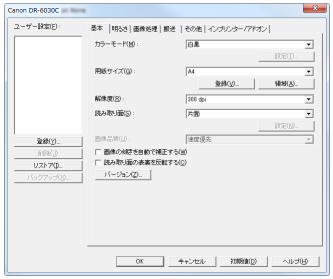
スキャナードライバーの構成と機能

スキャナードライバーは次のタブで構成されています。

ヒント

設定画面についての詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。ドライバーの［ヘルプ］ボタンをクリックすると、そのタブやダイアログボックスに関するヘルプが表示されます。

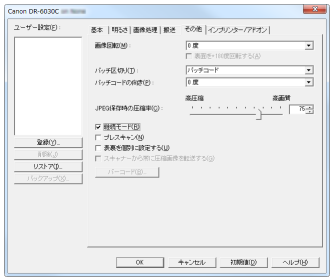
［基本］タブ



モードや用紙サイズ、解像度、読み取り面などの基本的なスキャン条件を設定します。
［領域］ボタンをクリックして、スキャンする領域を指定することもできます。

ヒント

ISIS 互換アプリケーションによっては、スキャン条件をアプリケーション独自の画面で設定することがあります。このようなアプリケーションでスキャナードライバーを開いた場合、［基本］タブにはスキャン条件以外のスキャナードライバーが提供する機能に関する設定項目が表示されます。



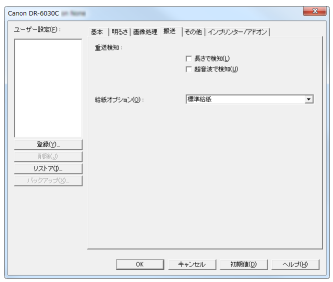
［明るさ］タブ

スキャン画像の明るさとコントラストを調整します。
［ガンマ］をクリックして、スキャン画像のガンマ補正値を設定することもできます。

［画像処理］タブ

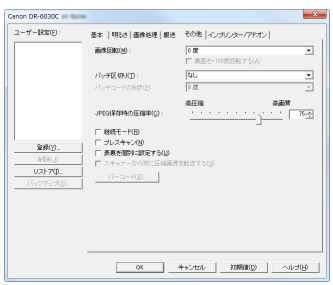
スキャン画像の処理方法を設定します。

［搬送］タブ



原稿の給紙に関するスキャナーの動作を指定します。

［その他］タブ



特殊なスキャン方法や画像処理に関する設定をします。

［インプリンター / アドオン］タブ

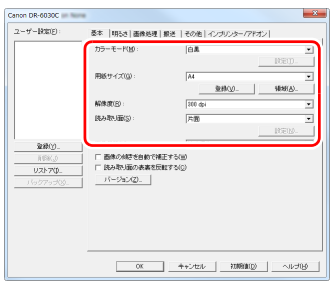
読み取った画像に任意の文字列やカウンター、指定したビットマップ画像を追加するための設定をします。

基本的なスキャン条件の設定

読み取りの設定を行う際に最低限必要となる基本設定の項目の概略について説明します。

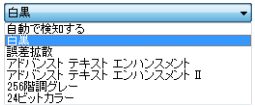
読み取りの基本条件の確認

原稿をスキャンするときは、基本設定ダイアログボックスで「カラーモード」、「用紙サイズ」、「解像度」、「読み取り面」の基本条件を必ず確認してください。



カラーモード

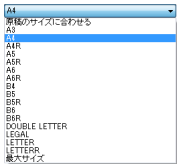
スキャンするモードを選択します。



- ［アドバンストテキストエンハンスメント］および［アドバンストテキストエンハンスメント II］は、文字の周りや地色の背景を除去または処理し、文字を強調させて読みやすくします。［アドバンストテキストエンハンスメント II］を選択したときは、［明るさ］タブでコントラストを調整することで、スキャンした画像の文字が読みやすくなるように調整できます。
- ［自動で検知する］は原稿の内容からカラー、グレーまたは白黒のいずれかを検知します。［設定］をクリックすると、検知方法に関する詳細な設定ができます。詳細はヘルプを参照してください。

用紙サイズ

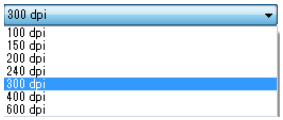
スキャンする原稿に合わせて用紙サイズを選択します。



［原稿のサイズに合わせる］を選択すると、原稿の端を検知して原稿のサイズに合わせた画像が保存されます。

解像度

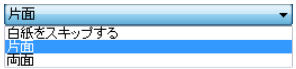
スキャンする解像度を選択します。



- 解像度を高くすると画像がきれいになりますが、ファイルサイズが大きくなり、スキャン速度も遅くなります。
- ［自動で検知する］を選択すると、原稿に印刷されている内容から自動的に解像度が検知されます。

読み取り面

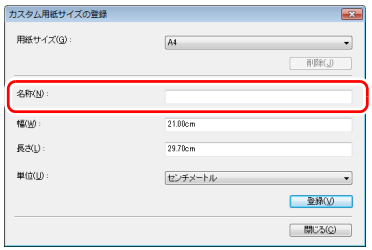
原稿をスキャンする面を選択します。



読み取り面を［白紙をスキップする］にすると、白紙の面の画像を削除して保存されます。

用紙サイズに登録されていない原稿の読み取り

用紙サイズの登録されていない非定形サイズの原稿は、［基本］タブの［登録］ボタンから開く［カスタム用紙サイズの登録］ダイアログボックスで、用紙サイズに登録されていない非定形サイズの用紙をカスタム用紙サイズとして名前を付けて登録することができます。

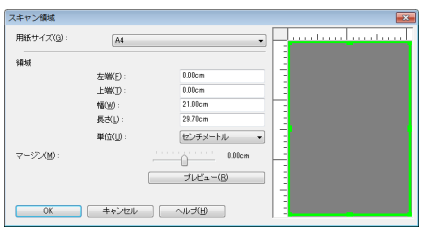


スキャン領域の指定

原稿の一部の領域を指定するときは以下の設定を行います。

領域指定

原稿の一部の領域を指定してスキャンするときは、［基本］タブの［領域］ボタンから開くスキャン領域ダイアログボックスで領域を指定します。

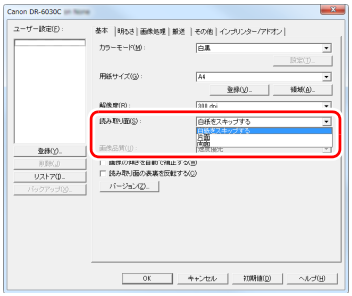


目的に合わせたスキャナー設定

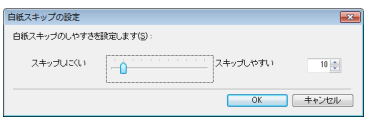
スキャンする目的に合わせてスキャン条件を設定します。

両面原稿の中にある白紙ページの画像を削除したい

［基本］タブにある読み取り面の設定を［白紙をスキャップする］にしてスキャンすると、原稿内にある白紙のページの画像が削除されます。

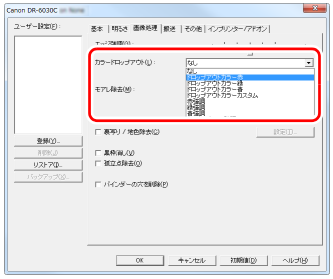


白紙スキップを選択すると［設定］ボタンが有効になり、白紙と判断するレベルを調整できます。



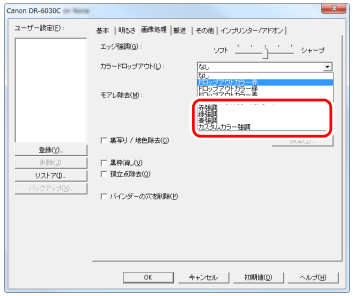
色の付いた罫線や文字をスキャンしないようにしたい

［画像処理］タブにあるカラードロップアウトの設定でドロップアウトさせる色（赤、緑、青、有彩色）を指定すると、指定した色がスキャンされません。



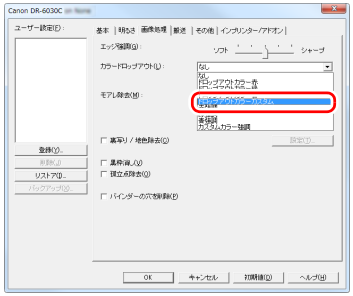
特定の色を強調させたい

［画像処理］タブにあるカラードロップアウトの設定で［強調させる色（赤、青、緑）を指定すると、指定した色が強調されます。

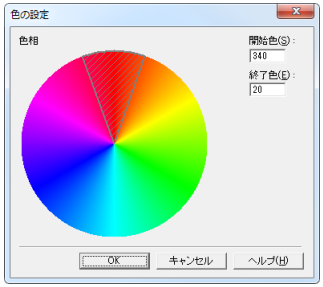


中間色を読み飛ばし、または強調させたい

「画像処理」タブにあるカラードロップアウトの設定でカスタムカラーを指定します。

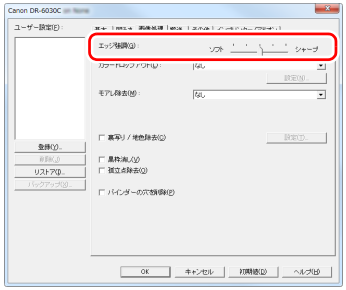


［設定］ボタンをクリックすると「色の設定」ダイアログボックスが表示され、色の範囲を指定して中間色をドロップアウト、または強調することができます。



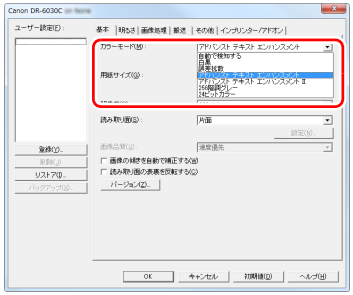
画像の輪郭をはっきりさせたい

［画像処理］タブでエッジ強調の設定を調整します。



背景などで文字が読みづらい原稿をスキャンしたときに文字をはっきりさせたい

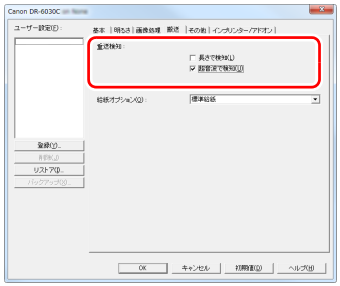
［基本］タブにあるモードの設定で［アドバンストテキストエンハンスメント］または［アドバンストテキストエンハンスメント II］を選択します。文字の背景を除去または処理して、文字を強調して読みやすくします。



- 「アドバンストテキストエンハンスメント」は、背景色が薄い原稿や、背景が（模様があるなど）均一でない原稿に適しています。背景が均一の場合は文字の周りの背景が除去され、背景が均一でない場合は文字が読みやすくなるように背景を処理します。
- 「アドバンストテキストエンハンスメント II」は、背景色が均一で、文字や背景が薄い原稿の読み取りに適しています。背景が模様など均一でない原稿は、背景が完全に除去されず文字が読みにくくなることがあります。必要に応じて［明るさ］タブでコントラストを調整することで、スキャン画像の文字を読みやすくできます。

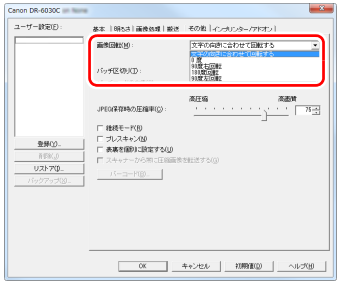
原稿が複数枚重なって給紙されるのを検知したい

［搬送］タブの［重送検知］のチェックボックスをオンにします。［超音波で検知］と［長さで検知］のどちらか、または両方を有効にできます。



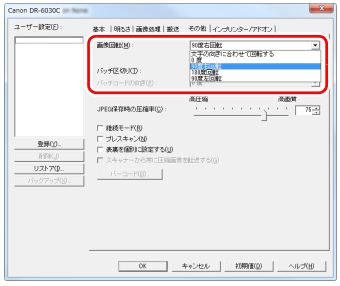
文字の向きが異なる原稿が混在しているときに画像の向きを文字に合わせてそろえたい

［その他］タブにある［画像回転］で［文字の向きに合わせて回転する］を選択します。原稿内の文字の向きを検知して文字の向きが正しくなるように、スキャン画像が 90 度単位で回転されます。



横向きにセットした原稿の画像が正しくなるように回転させたい

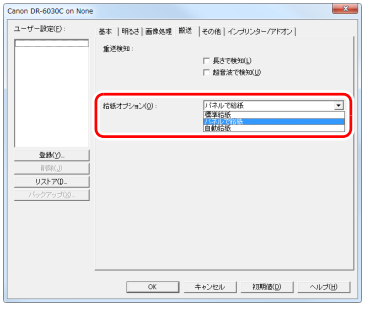
［その他］タブにある［画像回転］で回転させる角度を指定します。



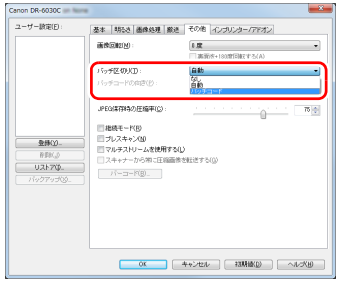
バッチ区切りでスキャンしたい

原稿を複数の束に分けてスキャンするときに、続きの原稿をセットしてスキャンするタイミングでバッチを区切ることができます。（バッチ区切りに対応したアプリケーションソフトでのみ有効です。）この場合はスキャナードライバーを次のように設定します。

- ［搬送］タブの［給紙オプション］を［パネルで給紙］または［自動給紙］に設定します。



- ［その他］タブの［バッチ区切り］を［自動］に設定します。

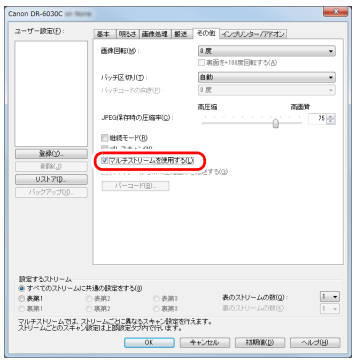


［バッチ区切り］を［自動］に設定したときは、続きの原稿をセットしてスキャンを継続したときにバッチが区切られます。

マルチストリーム設定でスキャンしたい

1 回のスキャン操作で複数の異なるスキャン画像を出力したり、表面と裏面ごとにスキャン条件が異なるスキャン画像を出力できます（マルチストリーム設定）。

マルチストリーム設定を使用してスキャンするときは、［その他］タブの［マルチストリームを使用する］チェックボックスをオンにし、マルチストリームに関する設定項目を表示させ、次の順に設定します。



① 原稿の表面と裏面ごとに異なるスキャン条件を指定するときは、あらかじめ［基本］タブの［読み取り面］で［両面］を選択します。

② ［表のストリームの数］で、適用するスキャン条件の数を指定します。3 つまで指定できます。

③ ［表第 1］を選択し、他のタブを開いてスキャン条件を設定します。［表のストリームの数］で指定した数に応じて、残りの［表第 2］、［表第 3］も同様に設定します。

④ 裏のスキャン条件を指定するときは、手順②～③と同様に設定します。この場合、［裏のストリームの数］を指定してから、［裏第 1］～［裏第 3］のそれぞれに対してスキャン条件を設定します。

ヒント

マルチストリーム設定での設定が可能なスキャン条件は次のとおりです。

タブ	設定が可能な項目
［基本］タブ	［カラーモード］および［解像度］（どちらも［自動で検知する］を除く）
［明るさ］タブ	［明るさ］および［コントラスト］
［画像処理］タブ	［エッジ強調］、［カラードロップアウト］
［搬送］タブ	なし（すべて無効）
［その他］タブ	なし（［マルチストリームを使用する］のみ有効）

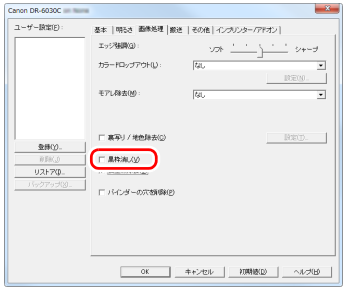
バーコードをスキャンしたい

バーコードモジュール（オプション）をインストールすると、原稿上のバーコードをスキャンできます。［その他］タブの［バーコード］ボタンをクリックして、バーコードのスキャン条件を設定できます。

設定の詳細は、ヘルプを参照してください。

原稿上の孤立点を取り除きたい

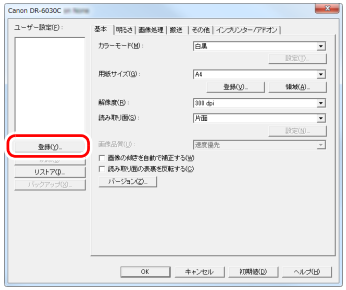
原稿上にある孤立点をスキャン画像から除去できます。



- ［孤立点除去］チェックボックスをオンにすると、白地の中で孤立した 3×3 ドットの黒い点（または黒地の中で孤立した 3×3 ドットの白い点）を自動的に除去します。

スキャナードライバーの設定を保存したい

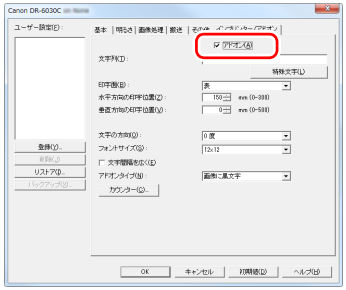
設定が終わったときに、［ユーザー設定］の［登録］ボタンをクリックして設定内容を保存できます。



保存した設定内容は、一覧に登録されます。［削除］ボタンで一覧から削除したり、［リストア］または［バックアップ］ボタンで設定内容をファイルに保存したり読み込むことができます。

スキャンした画像に任意の文字列を追加したい

アドオンチェックボックスをオンにすると、追加する文字列の設定が有効になります。



ヒント

任意で入力できる文字列は次のとおりです。

	［文字列］の設定
数字	0 ～ 9
アルファベット	A ～ Z、a ～ z
記号	！” ’ ＃ ＄ ％ ＆ ’ （ ） ＊ ＋ － ． ， ／ ： ； ＜ ＞ ＝ ？ ＠ ［ ］ ｛ ｜ ｝ ｀ ￥

- スキャンする解像度によって画像としての文字の大きさが変わります。
- カウンターや日時、矢印などの特殊文字は、［特殊文字］ボタンをクリックして表示されるリストから選択します。文字列にはそれぞれの省略文字が入力されます。

カラーモードの設定による機能制限

［基本］タブの［カラーモード］の設定に応じて、次のようにドライバーの各タブの設定項目の一部が無効になります。

［明るさ］タブ

設定値	コントラスト
自動で検知する	○
白黒	○
誤差拡散	○
アドバンストテキストエンハンスメント	×
アドバンストテキストエンハンスメントII	○
256 階調グレー	○
24 ビットカラー	○

（○：設定可 ×：設定不可）

［その他］タブ

設定値	プレスキャン
自動で検知する	×
白黒	○
誤差拡散	○
アドバンストテキストエンハンスメント	○
アドバンストテキストエンハンスメントII	○
256 階調グレー	○
24 ビットカラー	○

（○：設定可 ×：設定不可）

［画像処理］タブ

設定値	エッジ強調	カラー ドロップアウト	裏写り / 地色除去	孤立点除去
自動で検知する	○	×	○ 1)	○ 2)
白黒	○	○	○	○
誤差拡散	○	○	○	×
アドバンストテキストエンハンスメント	○	○	×	○
アドバンストテキストエンハンスメントII	×	○	×	○
256 階調グレー	○	○	○	×
24 ビットカラー	○	×	○	×

（○：設定可 ×：設定不可）

1）［カラー白黒検知設定］ダイアログボックスの設定が下記の条件のすべてに合致する場合は設定不可
- ［検知モード］が［カラーまたはグレー］以外
- ［白黒と判定された場合］タブの［白黒の場合のモード］が［アドバンストテキストエンハンスメント］または［アドバンストテキストエンハンスメントII］

2）以下の二つのいずれかに合致する場合は設定不可
- ［カラー白黒検知設定］ダイアログボックスの［検知モード］が［カラーまたはグレー］の場合
- ［白黒と判定された場合］タブの［白黒の場合のモード］が［誤差拡散］の場合

3）［カラー白黒検知設定］ダイアログボックスの［検知モード］が［カラーまたはグレー］の場合は設定不可

より高度なスキャン方法（バッチ区切り）

パッチコードシートを用いたバッチ区切り

DR-6030C は、パッチコードによるバッチ区切り（自動ファイル区切り）機能に対応しています。
同梱のパッチコードシートを原稿に挟んでスキャンすることにより、パッチコードシートが含まれる原稿（またはパッチコードシートの次の原稿）の画像でファイルを自動的に区切ることができます。

ヒント

- この機能は、同梱の CapturePerfect で利用できます。他のアプリケーションの場合は、この機能に対応した ISIS 互換アプリケーションで利用できます。TWAIN 互換アプリケーションでは利用できません。
- パッチコードは、PDF 形式で本製品に同梱されています。利用するには、同梱の CapturePerfect などのように PDF 形式のファイルの閲覧に対応したアプリケーションが必要です。

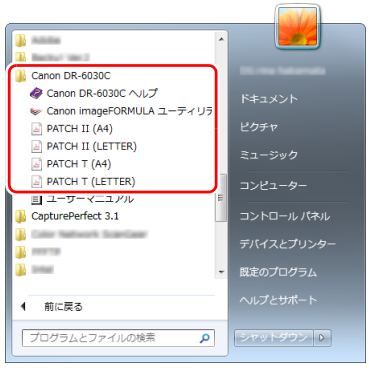
次のパッチコードシートが、pdf 形式のファイルとして、スキャナードライバーと一緒にインストールされます。

パッチコードの種類	パターン	説明
PATCH T (FILE A)		このパッチコードが印刷されたページの次のページからファイルを区切ります。パッチコードが印刷されたページをスキャン画像に含めるかどうかは、アプリケーションで設定します。
PATCH II (FILE B)		このパッチコードが印刷されたページからファイルを区切ります。パッチコードが印刷されたページは常にスキャン画像に含まれます。

パッチコードを利用してスキャンするときは、次のように操作します。

1 **パッチコードシートをプリンターで印刷します。**

スタートボタン、［すべてのプログラム］－［Canon DR-6030C］の順にクリックすると、メニューからパッチコードを選択できます。
パッチコードは A4 サイズとレター（LTR）サイズが用意されています。スキャンする原稿と同じサイズのパッチコードを選択してアプリケーションで開き、プリンターで印刷してください。

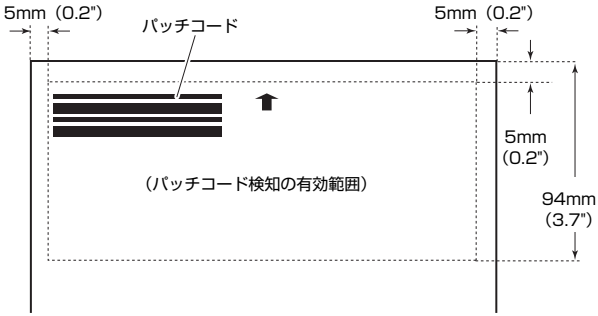


ヒント

Windows 8.1 では以下の場所に登録されています。

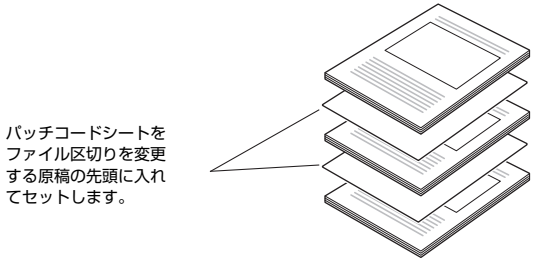
重要

- パッチコードは等倍で印刷する必要があります。拡大または縮小して印刷すると、正常に認識できないことがあります。
- 用意されているパッチコードをコピーして、別のサイズのパッチコードを作成するときは、次の図の有効範囲にパッチコードが入るようにしてください。また、コピー元のパッチコードが同じサイズと濃度でコピーされるようにしてください。



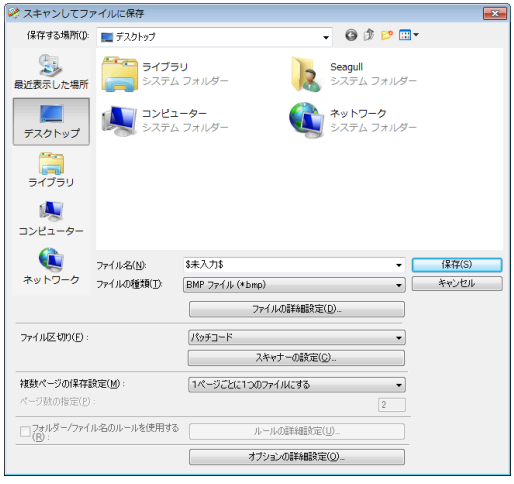
- パッチコードシートは汚さないようにしてください。特に、パッチコード検知の有効範囲を汚さないように注意してください。また、折り曲げたり、しわにならないようにしてください。

2 パッチコードシートを、ファイルを区切るページの前に挿入してから、スキャナーにセットします。

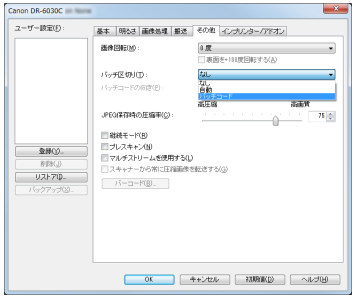


3 アプリケーションで、バッチ区切りの種類としてパッチコードを指定します。

CapturePerfect の場合は、［ファイル区切り］の設定で［パッチコード］を選択します。



他の ISIS 互換アプリケーションの場合は、スキャナードライバーの設定画面を開き、［その他］タブの［バッチ区切り］で［パッチコード］を選択します。



日常のお手入れ

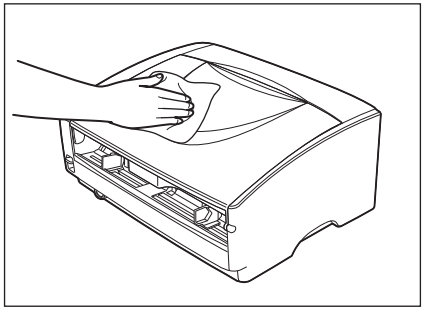
読み取り品質を維持するために、以下のような日常の清掃を行ってください。

注意

- 本体および内部の清掃を行うときは、安全のため、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてから清掃を行ってください。
- ローラーおよびシェーディング板の清掃を行うときは、電源をオンにしておく必要があります。電源が入った状態で作業するため感電等に十分注意して作業を行ってください。
- 清掃の際、スプレー容器は使用しないでください。精密機器が濡れて破損する恐れがあります。
- シンナーやアルコールなどの有機溶剤はけっして使用しないでください。外装が変形、変色したり溶解する恐れがあります。また、火災や感電の原因になることもあります。

本体の清掃

本体表面は、水を含ませて固くしぼった布で汚れを落としたあと、きれいな乾いた布で拭きます。



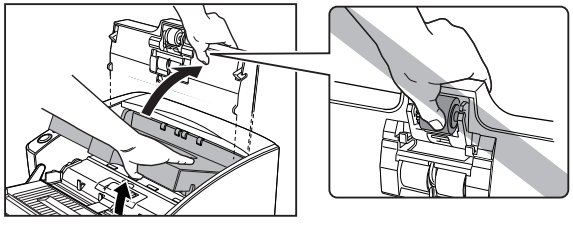
本体内部の清掃

給紙口や本体内部の搬送路にほこりや紙粉がたまると、スキャンした画像にすじが入る原因になります。給紙口や本体内部にたまったほこりや紙粉はブロアなどを使って定期的に取り除いてください。また、大量の原稿をスキャンしたときなどは、スキャナーの電源を切った後に紙粉の除去を行ってください。

読み取りガラスとローラーの清掃

スキャンした画像にすじが入ったり、スキャンした原稿が汚れていたりする場合には、本体内部にある読み取りガラスやローラーが汚れている可能性があります。定期的に清掃してください。

1 上部ユニットを図のようにつかみ、止まるところまでゆっくりと開きます。

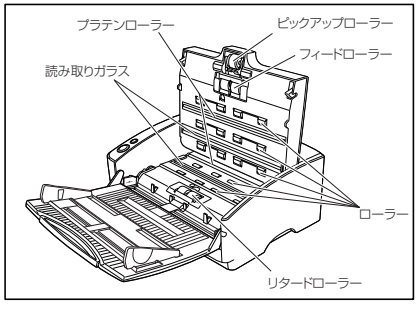


注意

上部ユニット中央の凸部には、ピックアップローラーがあります。上部ユニットを開く際に凸部を持たないでください。ピックアップローラーの変形や搬送エラーの原因になります。

ヒント

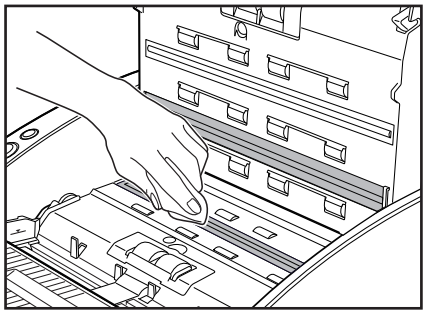
読み取りガラス、各ローラーは以下の位置にあります。



2 ブロアなどを使って、本体内部にたまったほこりや 紙粉を取り除きます。

3 きれいな乾いた布で読み取りガラスの汚れを拭き取ります。

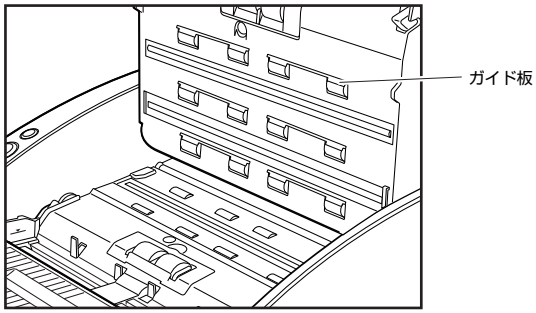
読み取りガラスは上下に2つあります、両方ともきれいに拭いてください。



重要

読み取りガラスにキズがあるとスキャンした画像にすじが入ったり、搬送エラーの原因になります。読み取りガラスにキズがあるようなときは、お買い求めの販売店または、担当サービスに連絡し、読み取りガラスを交換してください。

4 ローラーを回転させながら、水を含ませて固くしぼった布で、ローラーの汚れを拭きとります。



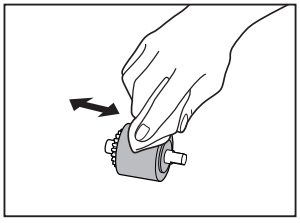
重要

- ローラーの清掃には、中性洗剤を使用しないでください。ローラーに洗剤が残り、搬送エラーの原因になります。
- ローラーが回転しないようなときには、ローラーを無理に回転させないで、見えている部分の汚れのみを拭き取ってください。ローラーを無理に回転されると、搬送エラーの原因になることがあります。
- 上部ユニットのローラーに付いているガイド板は折り曲げないように注意してください。

5 ピックアップローラー、フィードローラー、リタードローラーを取り外します。

- ピックアップローラーの交換（→ P.49）
- フィードローラーの交換（→ P.50）
- リタードローラーの交換（→ P.52）

6 水を含ませて固くしぼった布で、取り外したローラーの汚れを拭きとります。



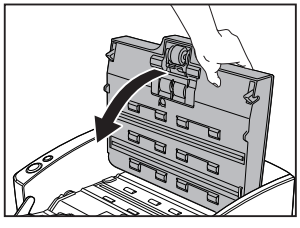
注意

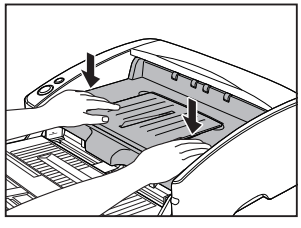
ローラーを清掃する際、中性洗剤は使用しないでください。洗剤がローラーに残留し、搬送エラーの原因になります。

7 取り外したローラーを取り付けます。

- ピックアップローラーの交換（→ P.49）
- フィードローラーの交換（→ P.50）
- リタードローラーの交換（→ P.52）

8 上部ユニットを静かに閉じます。そして、上部ユニットの両端を両手で押し、カチッと音がして確実に閉じたことを確認してください。





重要

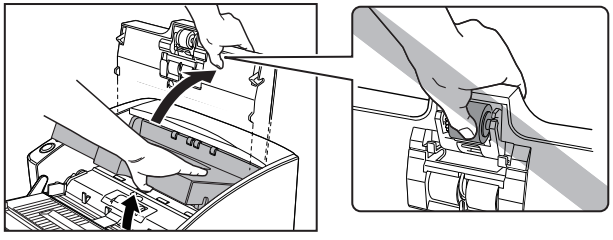
上部ユニットを無理に閉じないでください。本体の故障の原因になります。

シェーディング板の清掃

シェーディング板は、プラテンローラーの奥に収納されている白基準板です。シェーディング板が汚れると、読み取った画像の色がおかしくなったり、スジが入る原因になります。

1 電源をオンにします。

2 上部ユニットを図のようにつかみ、止まるところまでゆっくりと開きます。



注意

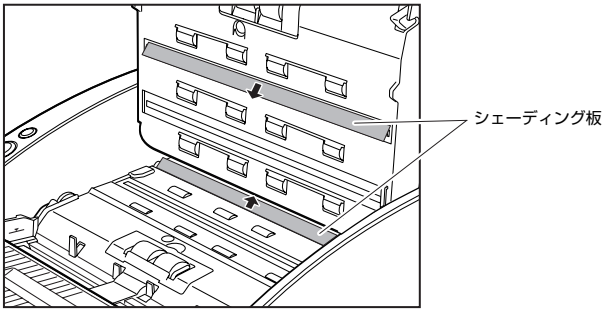
上部ユニット中央の凸部には、ピックアップローラーがあります。上部ユニットを開く際に凸部を持たないでください。ピックアップローラーの変形や搬送エラーの原因になります。

重要

上部ユニットは、必ず止まるところまで開いてください。途中で止まっているとシェーディング板を出すことができません。

3 スタートキーを約 2 秒間押し続けます。

プラテンローラー（上下）の上にシェーディング板が出ます。



4 水を含ませて固くしぼった布で、シェーディング板の汚れを拭きとります。

重要

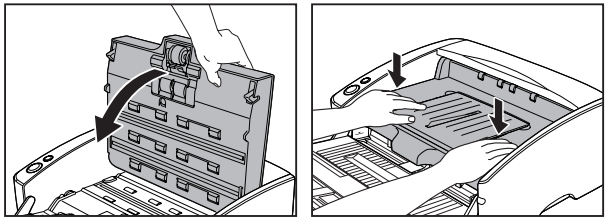
シェーディング板は、上下に二つありますので、両方ともきれいに拭いてください。

5 ローラーのゴミがシェーディング板に付着することがあるので、ローラーも清掃します。水を含ませて固くしぼった布で、ローラーの汚れを拭きとります。

6 ストップキーを押します。

シェーディング板が収納されます。

7 上部ユニットを静かに閉じます。そして、上部ユニットの両端を両手で押し、カチッと音がして確実に閉じたことを確認してください。



重要

上部ユニットを無理に閉じないでください。本体の故障の原因になります。

消耗品の交換

ピックアップローラー、フィードローラー、リタードローラーの清掃および交換の際は、それぞれの手順にしたがってローラーの取り外し、取り付けを行ってください。

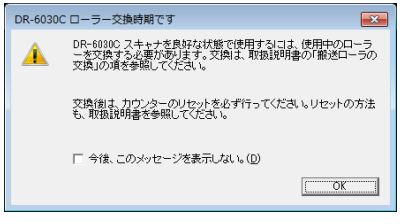
重要

搬送ローラーは消耗品です。ローラーが磨耗してくると紙詰まりや原稿が正しく給紙されないなどの不具合が起きやすくなります。このようなときは、交換用ローラーキットをお買い求めの上、ピックアップローラー、フィードローラー、リタードローラーの交換を行ってください。

注意

- ピックアップローラーの取り外し / 取り付けは、スキャナーの電源をオンにした状態で行います。電源が入った状態で作業するため十分注意してください。
- ローラーの取り外し、取り付けを行うときは、無理な力を加えないでください。破損の原因になります。

使用中のローラーの搬送枚数が 25 万枚を越えた場合、コンピューターを再起動したときにローラー交換のメッセージが表示されます。交換ローラーキットをお買い求めになり、ピックアップローラー、フィードローラー、リタードローラーの交換を行ってください。



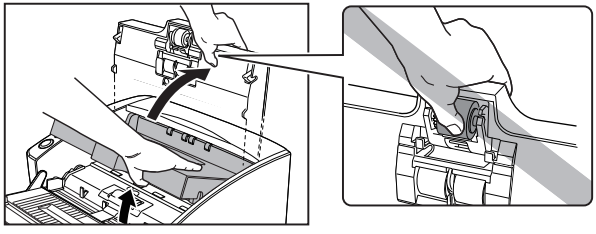
重要

- メッセージが表示される前でも、搬送の不具合が起きやすくなってきたらローラーの磨耗を確認の上、ローラーを交換してください。
- ローラーを交換後、カウンターは必ずリセットしてください。「カウンターのリセット」（→ P.53）
- 交換ローラーキット（ピックアップローラー、リタードローラー、フィードローラー）についてはお買い求めの販売店または担当サービスにお問い合わせください。

上部ユニットの開閉

上部ユニットの開き方

上部ユニットを図のようにつかみ、止まるところまでゆっくりと開きます。



注意

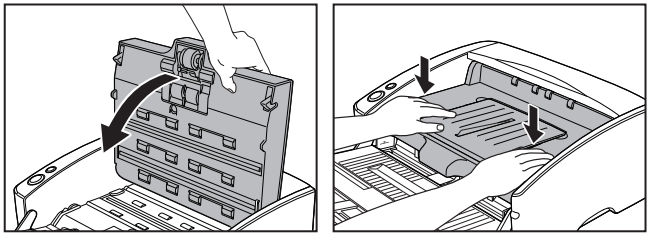
上部ユニット中央の凸部には、ピックアップローラーがあります。上部ユニットを開く際に凸部を持たないでください。ピックアップローラーの変形や搬送エラーの原因になります。

重要

上部ユニットは、必ず止まるところまで開いてください。途中で止まっているとシェーディング板を出すことができません。

上部ユニットの閉じ方

上部ユニットを静かに閉じます。そして、上部ユニットの両端を両手で押し、カチッと音がするまで確実に閉じます。



重要

上部ユニットを無理に閉じないでください。本体の故障の原因になります。

ピックアップローラーの交換

ピックアップローラーの取り外し / 取り付けは、スキャナーの電源をオンにしたあと、以降の手順にしたがって行ってください。

注意

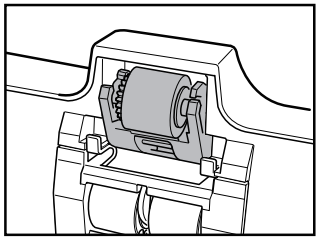
- ピックアップローラーの取り外し/取り付けは、スキャナーの電源をオンにした状態で行います。電源が入った状態で作業するため十分注意してください。
- ローラーの取り外し、取り付けを行うときは、無理な力を加えないでください。破損の原因になります。

ピックアップローラーの取り外し

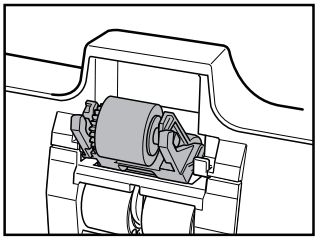
1 電源をオンにします。

ヒント

電源がオフの場合、ピックアップローラーがロックされるため、上部ユニットを開いた時にピックアップローラーが手前に倒れません。



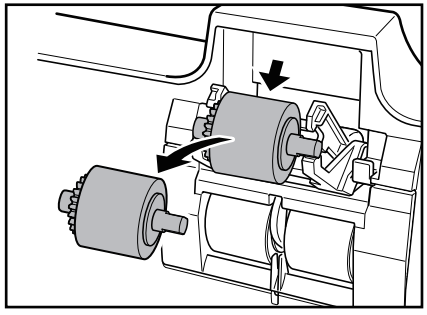
電源オフ時



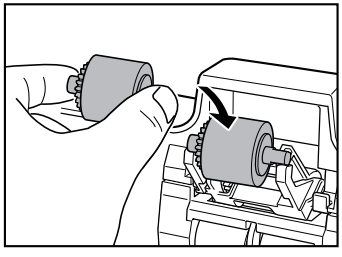
電源オン時

2 上部ユニットを静かに開きます。(→ P.48)

3 ピックアップローラーを押し下げてフックを開き、ピックアップローラーを取り外します。



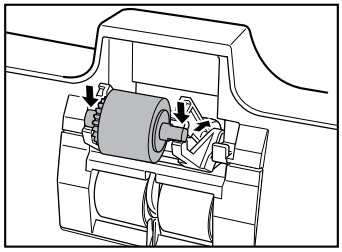
4 新しいピックアップローラーを取り付けます。ピックアップローラーの軸の両側を持ち、フックの上に持っていきます。



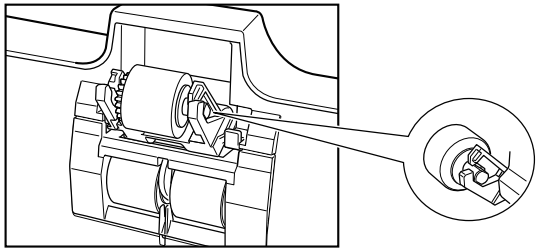
重要

ピックアップローラーの向きに注意してください。逆向きで無理に押し込むと本体の故障の原因になります。

5 ピックアップローラーの軸でフックを押し下げて、ピックアップローラーを押し込みます。



6 ピックアップローラーの軸が正常にはさまれていることを確認します。



7 上部ユニットを静かに閉じます。(→ P.48)

フィードローラーの交換

フィードローラーの清掃および交換の際は、以降の手順にしたがってローラーの取り外し、取り付けを行ってください。

注意

ローラーの取り外し、取り付けを行うときには、無理な力を加えないでください。破損の原因になります。

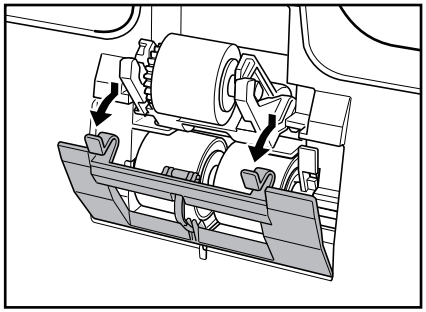
フィードローラーの取り外し

1 上部ユニットを静かに開きます。(→ P.48)

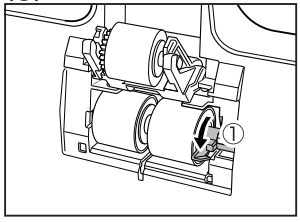
注意

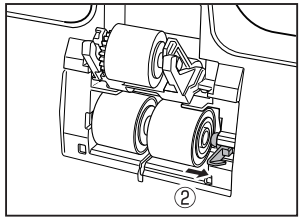
上部ユニット中央の凸部には、ピックアップローラーがあります。上部ユニットを持ち上げる際に凸部を持たないでください。ピックアップローラーの変形や搬送エラーの原因になります。

2 ローラーカバーのフックを下げて、ローラーカバーを手前に取り外します。

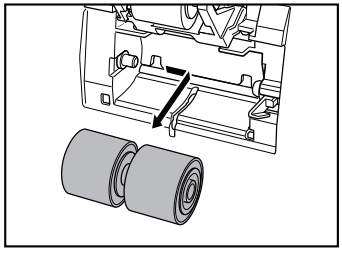


3 ローラー固定レバーを手前に倒し（①）、右方向へスライドさせます（②）。

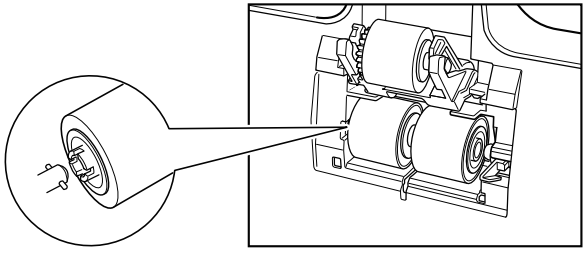




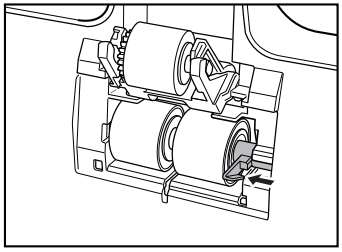
4 フィードローラーを右に寄せて、取り外します。



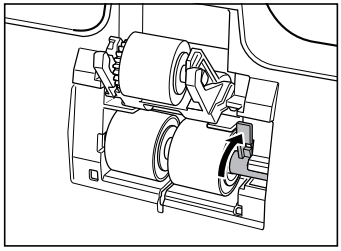
5 新しいフィードローラーをセットし、ローラーの切り欠き部を本体側の軸に合わせます。



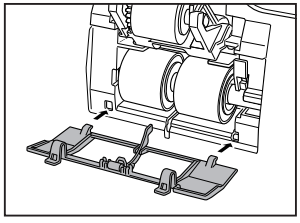
6 ローラー固定レバーを左にスライドさせ、フィードローラーの穴にはめ込みます。

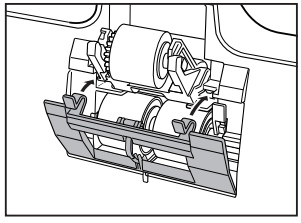


7 ローラー固定レバーを起こしてフィードローラーを固定します。



8 ローラーカバーを取り付けます。





9 上部ユニットを静かに閉じます。（→ P.48）

リタードローラーの交換

リタードローラーの清掃および交換の際は、以降の手順にしたがってローラーの取り外し、取り付けを行ってください。

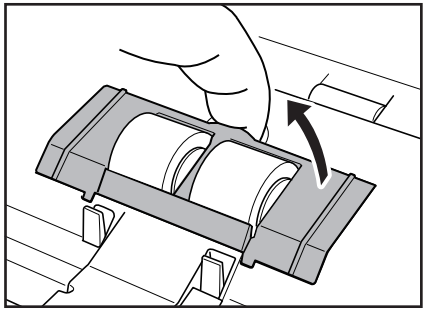
注意

ローラーの取り外し、取り付けを行うときには、無理な力を加えないでください。破損の原因になります。

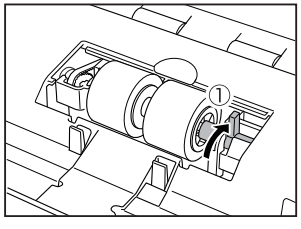
リタードローラーの取り外し

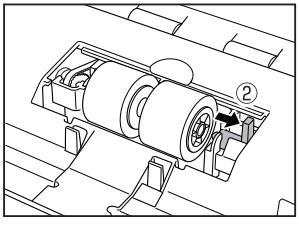
1 上部ユニットを静かに開きます。(→ P.48)

2 ローラーカバーに指をかけて取り外します。

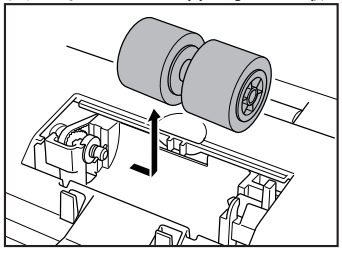


3 ローラー固定レバーを起こし (①)、右方向へスライドさせます (②)。

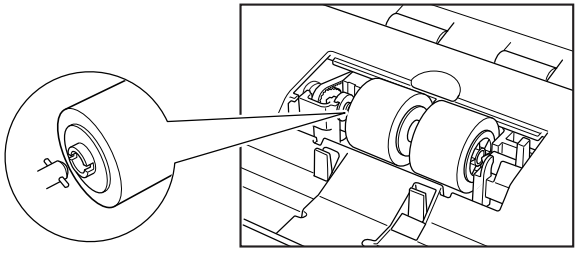




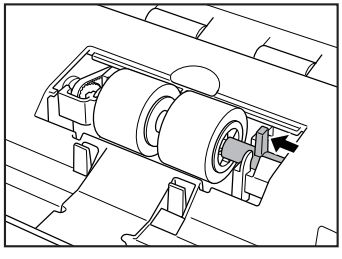
4 リタードローラーを右に寄せて、取り外します。



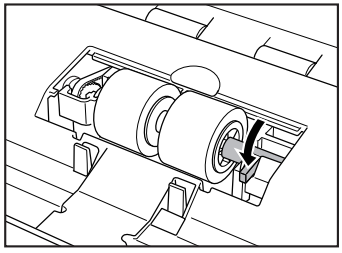
5 新しいリタードローラーをセットし、ローラーの切り欠き部を本体の軸に合わせます。



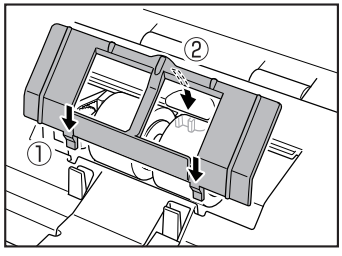
6 ローラー固定レバーを左にスライドさせ、リタードローラーの穴にはめ込みます。



7 ローラー固定レバーを手前に倒してリタードローラーを固定します。



8 ローラーカバーを①→②の順に取り付けます。



9 上部ユニットを静かに閉じます。(→ P.48)

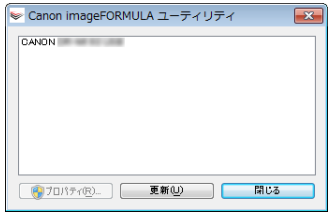
カウンターのリセット

重要

Administrator 権限のアカウントでログオンしてください。

1 スタートボタンをクリックし、[すべてのプログラム]、[Canon DR-6030C]、[Canon imageFORMULA ユーティリティ] の順にクリックします。

imageFORMULA ユーティリティが起動します。

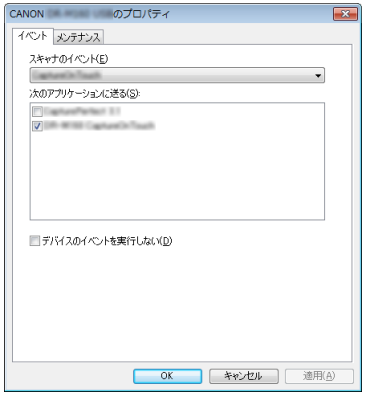


ヒント

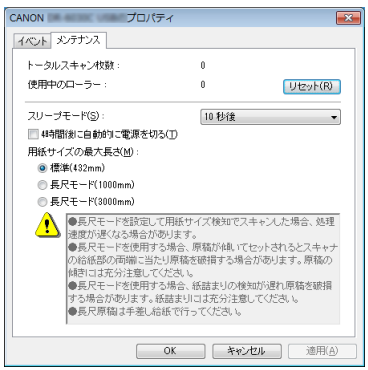
Windows 8.1 では以下の場所に登録されています。

2 ［Canon DR-6030C USB］をクリックし、プロパティをクリックします。

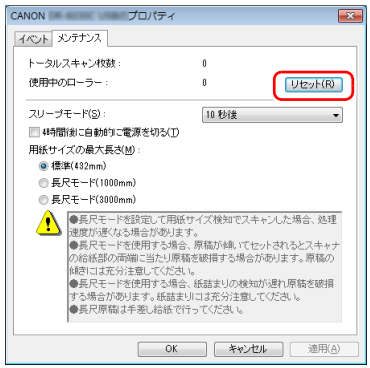
スキャナーのプロパティが表示されます。



3 ［メンテナンス］タブをクリックします。



4 ［リセット］をクリックします。



［使用中のローラー］のカウンター値がリセットされます。

5 ［OK］をクリックしてスキャナーのプロパティを閉じます。

スリープモード設定

本機は、一定時間使用しないとスリープモードに移行する省電力設計になっています。
この設定を無効にするには、次の手順に従います。

重要

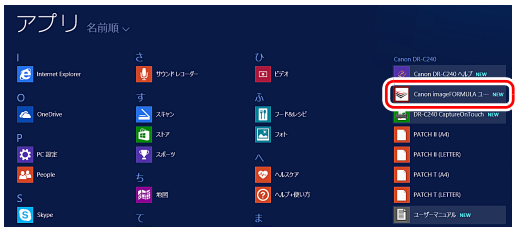
Administrator 権限のアカウントでログオンしてください。

1 スタートボタンをクリックし、[すべてのプログラム]、[Canon DR-6030C]、[Canon imageFORMULA ユーティリティ] の順にクリックします。

imageFORMULA ユーティリティが起動します。

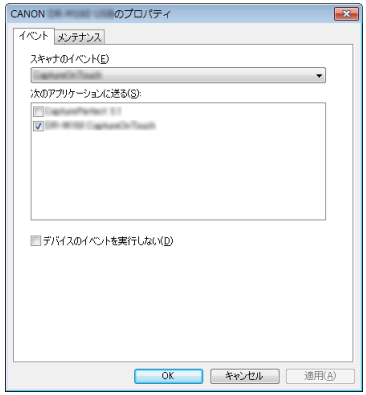
ヒント

Windows 8.1 では以下の場所に登録されています。

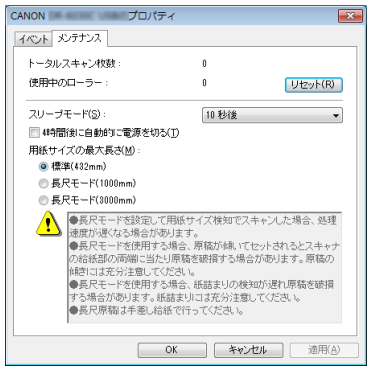


2 [Canon DR-6030C USB] をクリックし、プロパティをクリックします。

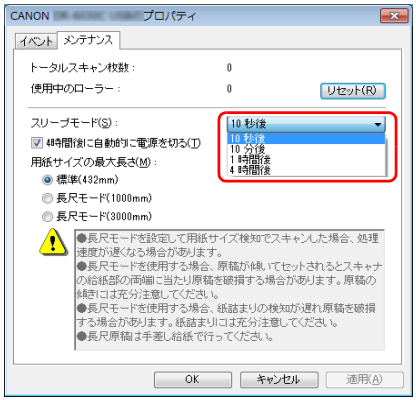
スキャナーのプロパティが表示されます。



3 [メンテナンス] タブをクリックします。



4 スリープモードへの移行時間［10 秒後］（工場出荷時）、［10 分後］、［1 時間後］、［4 時間後］を選択します。



5 ［OK］をクリックしてスキャナーのプロパティを閉じます。

自動電源オフ設定

本製品は、スキャンなどの操作をしないまま 4 時間経過すると自動的に電源がオフになります。
この設定を無効にするには、次の手順に従います。

重要

Administrator 権限のアカウントでログオンしてください。

1 スタートボタンをクリックし、［すべてのプログラム］、［Canon DR-6030C］、［Canon imageFORMULA ユーティリティ］の順にクリックします。

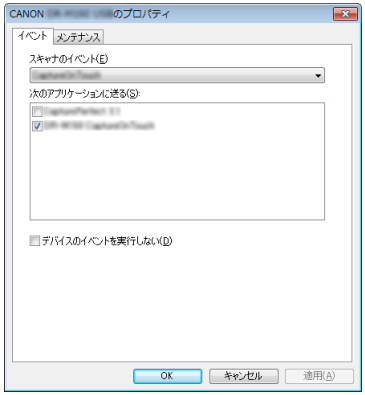
imageFORMULA ユーティリティが起動します。

ヒント

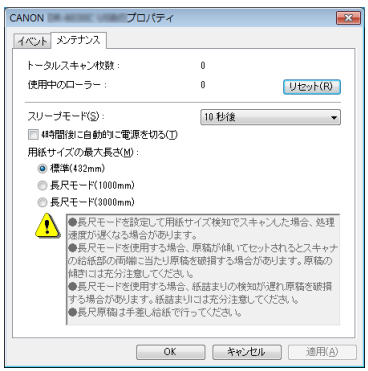
Windows 8.1 では以下の場所に登録されています。

2 ［Canon DR-6030C USB］をクリックし、プロパティをクリックします。

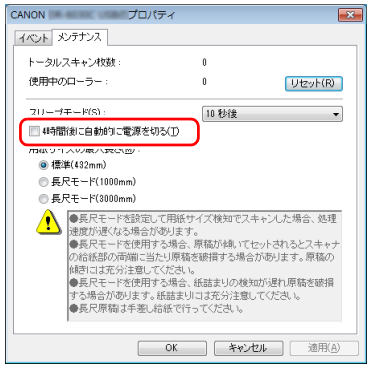
スキャナーのプロパティが表示されます。



3 ［メンテナンス］タブをクリックします。



4 ［4 時間後に自動的に電源を切る］チェックボックスをオフにします。



5 ［OK］をクリックしてスキャナーのプロパティを閉じます。

トラブル Q & A

ここでは、お問い合わせの多いトラブルについて、その対処方法を説明しています。
問題が解決しないときは、お買い求めの販売店または『セットアップガイド』に記載されているサービス窓口にご相談ください。

Q1. 電源が入らない。

A1. 電源コードが確実にコンセントに接続されていることを確認してください。

Q2. スキャナーが認識されない。

A2. (1) スキャナーとコンピューターがUSBケーブルで正しく接続されていることを確認してください。
(2) スキャナーの電源が入っていることを確認してください。この前の「Q1. 電源が入らない」も参照してください。
(3) コンピューターのUSBインターフェイスがスキャナーに対応していない可能性があります。本製品は、すべての USB インターフェイスでの動作を保証していません。
(4) 付属のUSBケーブルでスキャナーとコンピューターを接続していることを確認してください。市販の USB ケーブルによっては、スキャナーに対応していないことがあります。
(5) USB HUB を経由してスキャナーとコンピューターを接続している場合は、USB HUB を取り外し、スキャナーとコンピューターを直接接続してください。

Q3. 原稿が斜めに給紙される（スキャン画像が斜めになる）。

A3. (1) 原稿ガイドをできるだけ原稿にぴったりと合わせて、まっすぐ給紙されるように原稿をセットしてください。
(2) 給紙補助サポートを開いて原稿をセットしてください。
(3) すでに大量の枚数をスキャンしている場合は、ローラーを清掃してください。それでも原稿が斜めに給紙される場合は、ローラー交換などのメンテナンスが必要です。ローラーの清掃および交換については「メンテナンス」（→ P.44）を参照してください。

Q4. スキャン画像に白線 / すじが発生する。

A4. 読み取りガラス（表面と裏面の両方とも）やローラーを清掃してください。糊や修正液など粘着性のある汚れを清掃するときは、線の現れる場所をやや強めに拭いてみてください。清掃後も問題が解決しない場合は、内部ガラスにキズが付いている可能性があります。お買い上げの販売店または担当サービス窓口にお問い合わせください。

Q5. 原稿が詰まる（または重送する）。

A5. (1) ローラーが正しく取り付けられているかを確認し、必要に応じてローラーを清掃してください。
(2) 原稿が静電気などにより密着すると正常にスキャンできません。よくさばいてからセットしてください。
(3) 給紙切替レバーを非分離給紙に切り替えて、1 枚ずつ手差し給紙でスキャンしてください。

Q6. スキャン画像をJPEG形式で保存したいのに、TIFF形式で保存される。

A6. CapturePerfect でスキャナードライバーの［カラーモード］を［自動で検知する］に設定してスキャンした場合、白黒と認識された原稿はファイルの種類をJPEGにしていても自動的にTIFF形式で保存されます。これは、JPEG 形式は白黒 2 値画像に対応していないためです。すべて JPEG 形式で保存したい場合は、［カラーモード］を［24 ビットカラー］または［256 階調グレー］に設定してスキャンしてください。

Q7. 複数ページのスキャン画像を 1 つのファイルに保存できない。

A7. • CapturePerfect には、［スキャン］メニューの［スキャンして保存］を選択し、「複数ページの保存設定」に「1 ページごとに 1 つのファイルにする」が選択できる項目があります。ここが 1 ページに設定されていると、1 ページごとに 1 文書で保存されてしまいます。スキャン画像を 1 つの文書に保存するには、「全てのページを 1 つのファイルにする」に設定してください。

Q8. セットした原稿はすべてスキャンされたのに、スキャン画像がアプリケーションに表示されない

A8. スキャナードライバーの設定画面で、給紙方法を［パネルで給紙］または［自動給紙］に設定しているときは、すべての原稿の給紙が終わってもスキャン動作が終了せず、原稿の追加を待機する状態になります。操作パネルの Stop ボタンを押すと、スキャン動作が終了し、スキャン画像がアプリケーションに送られます。

Q9.　スキャン中にメモリー不足になり、スキャンできなくなった。

A9.　コンピューターのメモリーを大量に使用するようなスキャン条件では、メモリー不足によりスキャンができなくなる場合があります。コンピューターに搭載されているメモリー容量によりますが、下記の条件が重なるに従ってメモリー不足になる可能性が高くなります。

- ［カラーモード］を［24 ビットカラー］にする
- ［用紙サイズ］で大きな用紙サイズ（リーガルなど）を指定する。または［最大サイズ］にする
- ［解像度］で高い解像度（600dpi など）を指定する

スキャン中にメモリー不足などのメッセージが表示されたときは、アプリケーションを終了させ、スキャン条件を変更（たとえば、解像度を低くする、用紙サイズを小さくするなど）してからスキャンをやり直してください。また、［モアレ除去］や［裏写り / 地色除去］をオンにしている場合は、これらの設定値をオフにすることでメモリーの使用量を抑えることができます。

Q10. 複数枚ページの原稿をスキャンするときに重送する

A10　スキャナードライバーの設定画面で［超音波で検知］チェックボックスをオフに設定してください。（→ P.36）

ソフトウェアの操作で困ったときは

ここでは、付属ソフトウェア（CapturePerfect）の操作時に起こりうるトラブルとその対処方法を説明します。

スキャンに時間がかかる

(1) 他のアプリケーションソフトが起動しているときは、終了させてください。
(2) システムに常駐するアプリケーション（ウィルス対策ソフトウェアなど）によってシステムのメモリーが不足すると、スキャン速度が遅くなります。このような常駐ソフトを終了してからスキャンしてください。
(3) ハードディスクの空き容量が不足していると、スキャン時に作成される一時ファイル（一時的にスキャンデータを保存したファイル）が作成できません。ハードディスク上のデータを整理して空き容量を確保してください。
(4) コンピューターの USB ポートが Hi-Speed USB 2.0 に対応していない場合は、スキャン速度が低下します。
(5) Hi-Speed USB 2.0 に対応していない市販の USB ケーブルを使用している場合は、付属の USB ケーブル（Hi-Speed USB 2.0 対応）に換えてください。
(6) Hi-Speed USB 2.0 に対応していない USB HUB を経由してスキャナーとコンピューターを接続している場合は、USB HUB を取り外し、スキャナーとコンピューターを直接接続してください。

保存したスキャン画像が、アプリケーションソフトで開けない

(1) スキャン画像をマルチページTIFFファイルに保存した場合は、マルチページ TIFF ファイルに対応したアプリケーションソフトが必要です。
(2) マルチページ TIFF ではない TIFF ファイルに保存した場合でも、TIFF ファイルが圧縮されていると、アプリケーションによっては開けないことがあります。CapturePerfect の TIFF ファイルの圧縮方式に対応していないアプリケーションソフトを使用した場合に起こります。この場合は画像ファイルの圧縮形式を「なし」にしてスキャンしてください。

役立つヒント集

原稿をスキャンするうえで知っておくと便利なヒントを挙げます。ここでは、付属ソフトウェア（CapturePerfect）の操作を例に説明しています。

スキャン画像はどこに保存されますか？ また、保存先を変更することはできますか？
ソフトウェアで指定された下記の場所に保存されます。
- 1 ページのみスキャンなど通常の操作でスキャンしたときは、スキャンを実行するたびに、スキャン画像の保存先を指定します。
- ジョブを登録してスキャンした場合は、ジョブの設定にて指定されたフォルダーに保存されます。

スキャン設定をするにはどうすればよいですか？
- 通常のスキャン用には、［スキャン］メニューの［スキャナーの設定］をクリックして、スキャナードライバーの設定画面を開いて設定します。
- ジョブのスキャン設定は、ジョブごとに設定します。

複数のページを 1 つのファイルに保存したり、複数のページを 1 ファイルずつ保存できますか？
スキャン画像のファイル形式が BMP または JPEG の場合は、スキャン画像は常に 1 ページごとに 1 ファイルとなります。
スキャン画像のファイル形式が PDF または TIFF の場合は、マルチページとシングルページのどちらで保存するかを指定できます。「トラブル Q & A」の Q7 も参照してください。

スキャナー設定の内容のコピーやバックアップはできますか？
スキャナー設定の内容のコピーやバックアップはできません。

スキャン画像のファイル名はどのようなルールで付けられるのですか？
スキャン画像のファイル名や、スキャン画像が保存されるフォルダーのルールを設定して、スキャン時に適用できます。詳細は CapturePerfect の『操作ガイド』またはヘルプを参照してください。

白紙のページを飛ばして、白紙でないページだけをスキャンすることはできますか？
スキャナードライバーの設定画面で［白紙をスキップする］を指定してスキャンします。

カードをスキャンするにはどうすればよいですか？
カードをスキャナーにセットします。スキャナー設定でカードのサイズと同じサイズ（または［原稿のサイズに合わせる］）を指定してスキャンします。詳細は 26 ページを参照してください。

一度スキャンしたファイルにページを追加したり挿入したりできますか？
スキャン画像にページを追加、挿入する機能があります。詳細は CapturePerfect の操作ガイドを参照してください。

CapturePerfect の OCR 結果を Excel や Word に貼り付けるにはどうすればよいですか？
OCR 認識を有効にしてスキャンした後で、［編集］メニューの［バーコード / OCR の修正］をクリックして［バーコード /OCR の修正］ダイアログボックスを開くと、［OCR 文字列］ボックス内のテキストをコピーできます。または、OCR 認識を有効にしてスキャンした PDF ファイルをアプリケーションで開いて、必要なテキストをコピーしてください。

サイズの違う原稿を混載してスキャンするにはどうすればよいですか？
スキャナードライバーの設定画面で［用紙サイズ］を［原稿のサイズに合わせる］にしてスキャンします。詳細は 33 ページを参照してください。

名刺や写真を上手にスキャンする方法を教えてください。
スキャナードライバーの設定画面で［用紙サイズ］を［原稿のサイズに合わせる］にしてスキャンします。または、スキャンする名刺や写真と同じサイズを登録してスキャンします。詳細は 33 ページを参照してください。

スキャンしたデータを印刷したい。
スキャンしたプリントでスキャンします。または、出力先をプリンターにしてジョブに登録します。

フォルダー以外に保存したい。
スキャンして保存（または 1 ページのみスキャン）でスキャンします。または、出力先をファイルにし、共有フォルダーを保存先としてジョブに登録します。

スキャンしたデータをメールに添付させたい（またはメール送信したい）。
スキャンしてメールでスキャンします。または、出力先をメールにしてジョブに登録します。

紙づまりの処理

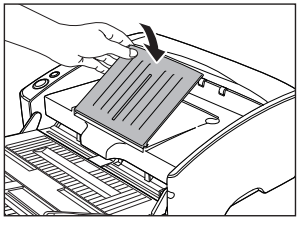
スキャン中に紙詰まりが発生したら、以下の手順に従って紙づまりの処理を行ってください。

警告

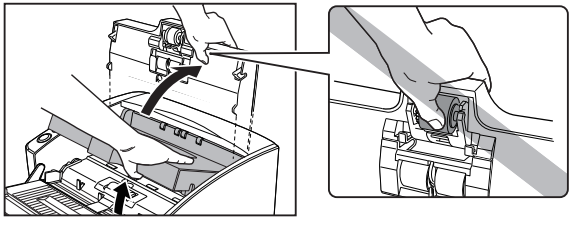
詰まった紙を取り除くときは慎重に行ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。

1 **排紙トレイに原稿が残っている場合は原稿を取り除きます。**

2 **排紙トレイガイドを閉じます。**



3 **上部ユニットの端を図のようにつかみ、詰まった原稿が取り除けるところまでゆっくりと開きます。**

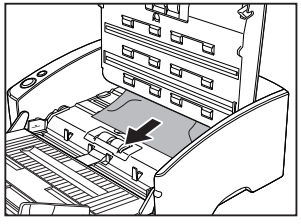


重要

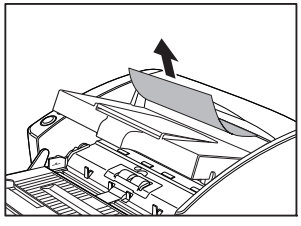
上部ユニット中央の凸部には、ピックアップローラーがあります。上部ユニットを開く際に凸部を持たないでください。ピックアップローラーの変形や搬送エラーの原因になります。

4 **詰まった原稿を取り除きます。**

給紙部で紙詰まりが起こった場合



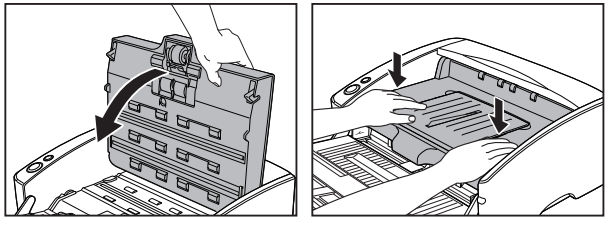
排紙部で紙詰まりが起こった場合



重要

原稿は無理に引っ張らず慎重に取り除いてください。万一原稿が破れてしまった場合は、残りの紙片も必ず取り除いてください。

5 **上部ユニットを静かに閉じます。そして、上部ユニットの両端を両手で押し、カチッと音がして確実に閉じたことを確認してください。**



重要

上部ユニットを無理に閉じないでください。本体の故障の原因になります。

ヒント

紙詰まりの処理が終わったら、最後に記録された画像を確認し、作業を続けてください。

ソフトウェアをアンインストールする

ISIS/TWAIN ドライバー、CapturePerfect が正常に動作しないようなときは、以下の手順でソフトウェアをアンインストールしてください。そして、セットアップディスクを使ってソフトウェアを再インストールしてください。
(→ P.6)

重要

Administrator 権限のアカウントでログオンしてください。

1 **［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。**

2 **［プログラムのアンインストール］をクリックします。**

［プログラムのアンインストール］ダイアログボックスが表示されます。

3 **プログラムの一覧から、削除するソフトウェア名をクリックし、［アンインストール］をクリックします。**

選択されたソフトウェアの削除を確認するメッセージ画面が表示されます。

4 **［はい］をクリックします。**

これでソフトウェアのアンインストールは完了です。

仕様

本体

形式　卓上型シートスルースキャナー
読み取り原稿サイズ
普通紙
サイズ　幅　：53 ～ 300mm（2.09" to 11.81"）
長さ：70 ～ 432mm (2.76" to 17.00")（長尺モード時は最大 3,000 mm（118.11"））
紙厚　ストレート排紙
（通常給紙）：52 ～ 128g/m2（0.06 ～ 0.15mm）
（非分離給紙）：42 ～ 546g/m2（0.05 ～ 0.66mm）
U ターン排紙
（通常給紙）：52 ～ 128g/m2（0.06 ～ 0.15mm）
（非分離給紙）：42 ～ 157g/m2（0.05 ～ 0.21mm）
最大積載枚数　100 枚（80g/m^2）
高さ 10mm を超えないこと
カード
サイズ　54mm（2.12"）×86mm（3.37"）ISO 規格準拠
カード厚　0.76 mm ± 0.08 mm （0.03" ± 0.003"）以下
＊エンボス付きカードを除く
最大積載枚数　1 枚

読み取りセンサー　コンタクトイメージセンサー
光源　LED
読み取り面　片面 / 両面
読み取りモード　白黒、誤差拡散、256 階調グレースケール、アドバンストテキストエンハンスメント、アドバンストテキストエンハンスメント II、24 ビットカラー
読み取り解像度（主走査 × 副走査）
100×100dpi/150×150dpi/200×200dpi/
240×240dpi/300×300dpi/
400×400dpi/600×600dpi
読み取り速度
（条件：CPU Core i7 2.8GHz、実装メモリー 4GB、原稿サイズ A4）

グレースケール	片面	200dpi	60 枚 / 分
		300dpi	60 枚 / 分
		600dpi	18 枚 / 分
	両面	200dpi	120 面 / 分
		300dpi	120 面 / 分
		600dpi	20 面 / 分
24 ビットカラー	片面	200dpi	60 枚 / 分
		300dpi	60 枚 / 分
		600dpi	23 枚 / 分
	両面	200dpi	120 面 / 分
		300dpi	80 面 / 分
		600dpi	23 面 / 分

インターフェイス　Hi-Speed USB 2.0 / Full Speed USB
その他の機能　斜行検知、長尺モード
外形寸法　幅398.4（15.69"）× 奥行き312（12.28"）× 高さ191.4（7.54"）mm
（トレイを閉じた状態）
幅 398.4（15.69"）× 奥行き 668（26.30"）× 高さ 194（7.64"）mm
（トレイを開いた状態）
質量　約 9.9kg
電源　AC100V(50/60Hz)
消費電力　動作時：41.1W
スリープモード：2.5W
電源ボタン OFF 時：（100V・120V）0.2W、（200V）0.4W
騒音　61dB 以下
使用環境　温度：10 ℃～ 32.5 ℃
湿度：20%（RH）～ 80%（RH）

上記の機能はお使いのアプリケーションソフトウェアで対応している場合に使用できます。

お使いのコンピューターの性能やソフトウェアによっては実現しない場合があります。

製品改良のため仕様は予告なく変更することがあります。

交換部品

交換ローラーキット （商品コード：0434B002）
搬送ローラー（ピックアップローラー、フィードローラー、リタードローラー）の交換キットです。

- 交換方法については、「消耗品の交換」（→ P.48）を参照してください。
- 交換部品についての詳細については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

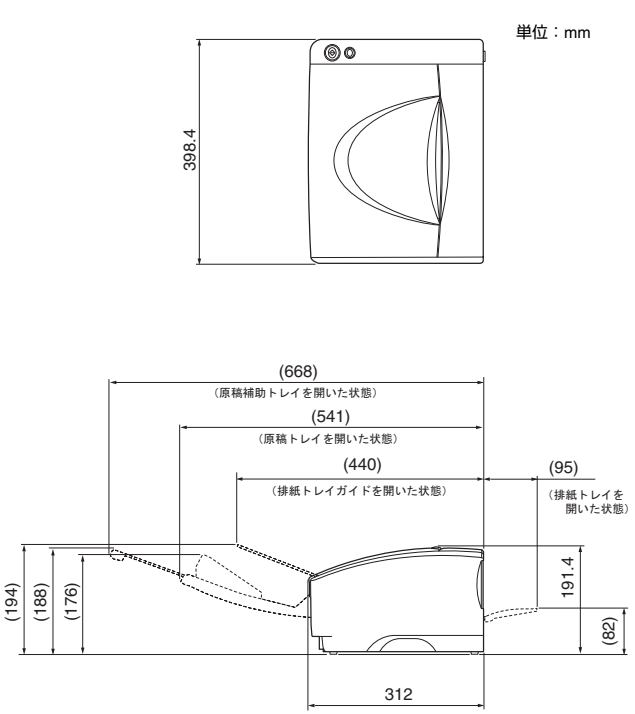
オプション

バーコードモジュール（商品コード：1922B001）
二次元コードモジュール（商品コード：1922B003）
原稿上に印刷されたバーコードをスキャン時に認識するための追加モジュールです。

フラットベッドスキャナーユニット 102（商品コード：2152Cxxx）
DR スキャナーに取り付けて使用するフラットベッドスキャナーユニットです。本機に取り付けることで、ADF 付きフラットベッドスキャナーとして本機を活用できます。

フラットベッドスキャナーユニット 201（商品コード：6240Bxxx）
DR スキャナーに取り付けて使用する A3 サイズ対応のフラットベッドスキャナーユニットです。本機に取り付けることで、ADF 付きフラットベッドスキャナーとして本機を活用できます。

外形寸法図



索引

あ
アンインストール 64
い
インストール 6
お
お手入れ 44
か
カード 26
　セットのしかた 26
カウンター 53
カスタム用紙サイズ 34
紙づまり 62
け
原稿 20
　セットのしかた 23
　カード 26
し
斜行を検知 28
重送検知 28
上部ユニット 48
す
スキャナードライバー 31
　基本的な設定 32
　目的に合わせた設定 34
スキャン領域 34
スリープモード設定 55
せ
接続 8
セットアップ 3
ち
長尺モード 26
つ
通常給紙 21
て
電源 9
と
動作環境 5
は
バーコードモジュール 66
バッチ区切り 37
ひ
ピックアップローラー 49
非分離給紙 21
ふ
フィードローラー 50
付属品を確認する 3
ま
マルチストリーム設定 38
よ
読み取りガラス 45
　清掃 44
り
リタードローラー 52
ろ
ローラー 44
　交換 48
　清掃 44
C
CapturePerfect 29

キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒 108-8011 東京都港区港南 2-16-6　CANON S TOWER

PUB. CE-IM-1011-J1.10
© CANON ELECTRONICS INC. 2016